

2020 年度

理 学 部 第 二 部
理 学 専 攻 科

履 修 の 手 引

開講されている講義の

内 容

→ シラバスを参照

開講時間帯

担当教員名

教 室

→ 授業時間割を参照

課程（カリキュラム）→ 学修簿を参照

* 教室の場所は巻末の2020年度理学部第二部授業時間割【教室番号
の見方】および神楽坂校舎案内図を参照のこと。

【重要】授業を受ける前の諸注意

- (1) 休講・補講・試験・行事日程・学生呼び出し等の学生に対する連絡は、原則として、学部・専攻科掲示板（一部各学科の掲示板）で知らせます。重要な連絡も含まれますので、登下校の際に必ず通覧すること。

学部・専攻科掲示板		3	号	館	1	階
数 学 科		7	号	館		
物 理 学 科		1	号	館	7	階
化 学 科		5	号	館	1	階

※ 巻末の神楽坂校舎案内図参照

なお、可能な限り同様の内容を **CLASS** で掲示します。

- (2) 休講・補講・試験・行事日程関係の電話による問い合わせには、応じられません。掲示板等で確認してください。
- (3) 教職員及び学生の住所・電話番号等の問い合わせには個人情報のため一切応じられません。教員に質問等がある場合には、研究室を訪ねるか、授業の前後で直接尋ねてください。
- (4) 諸手続き・提出書類、レポート等の提出は、試験に準ずるものです。したがって、期日（時間）以降の提出は一切受けられません。期日・時間には十分注意すること。なお、理学部二部事務室の受付は、窓口取扱時間のみです（掲示で特に指示する場合を除く）。

理学部二部事務室窓口取扱時間

受付窓口：理学部二部事務室（9号館3階）

受付時間：月～金 15時00分～18時30分、19時20分～21時30分

※土曜・日曜・祝日・振替休日は窓口業務を行わない。

〔注〕休暇期間中の窓口取扱日時については、その都度掲示する。

目 次

I	2020 年度行事予定・授業日一覧	2
II	暴風警報等の緊急時における授業・試験の取扱いについて	4
III	専任教員・授業時間帯・到達度評価試験時間帯	5
IV	学籍番号の表示・クラス編成	6
	1. 学籍番号	6
	2. クラス編成	6
V	在学期間（含学部内規）・学年	7
VI	履修申告について	7
	1. 履修申告	7
	2. 勤務状況の調査	7
	3. シラバス（授業計画）について	7
	4. 科目ナンバリングについて	7
VII	履修申告の方法	9
	1. 履修申告期間について	9
	2. 履修申告の方法について	9
	3. 履修単位数の制限	9
	4. 履修申告の注意事項	10
	5. 大学院授業科目の履修について	10
	6. その他	11
VIII	卒業見込証明書の発行について	11
IX	学修成果の評価について	12
X	履修上の注意事項	14
	1. 一般教養科目・教職科目	15
	2. 数学科	28
	3. 物理学科	34
	4. 化学科	40
XI	理学専攻科	46
XII	証明書の自動発行について	49
	データサイエンス教育プログラムについて	51
	神楽坂校舎案内図（含 理学部二部事務室・各学科事務室場所）	

理学部第二部 【カリキュラム・ポリシー】 教育課程編成・実施の方針

1. 理学部第二部の理念は本学創設以来の「理学の普及と実力主義」であり、この理念に向かって、夜間の時間帯に「十分な基礎学力の上に高度な専門知識を身に付け、豊かな教養に裏打ちされた強い倫理観と豊かな人間性を持った人材の育成」を行い、各学科ごとに定める人材育成に関する目的を実現するための学士の教育課程を編成する。
2. 真に実力を身に付けた学生のみを卒業させる「実力主義」の伝統を堅持し、厳格な教育課程を実践する。
3. 段階的な知識の修得を図るため、一般的素養を深めるための「一般教養科目」、各専門分野の基盤をなす「基礎科目」、各専門分野に応じた進路に必要な能力を養うための「専門科目」の3種類の授業科目を体系的に配置する。
4. 「一般教養科目」では、教員、研究者、企業人・公務員等様々な学生の進路に対応できるよう、多彩なカリキュラムと時間割を備え、グローバル化・ユニバーサル化に対応できる幅広い教養を持つ人材を育成するとともに、緻密な論理的思考力を身に付け、情報の収集・発表の方法を学び、多様な価値観を持つ他者と協働で物事を進められるようになることを目標とする授業科目を配置する。
5. 英語教育においては、少人数クラスや習熟度別クラスを取り入れ、学習効果を高める主体的な学びを導く教育を行う。
6. 「基礎科目」では、「基幹基礎科目」、「専門基礎科目」、「関連専門基礎科目」を配置し、かつ、真に基礎的な実力のある学生のみが先端的な専門科目の履修ができるよう、1年次から2年次への進級に対して履修が不可欠な関門科目を配置する。
7. 「専門科目」では、講義の他に、多くの演習・実験で習得した能力をベースに、さらに専門知識を深化させ、併せて他の授業科目との関連や学問探求の方法を学び、問題発見・解決能力の育成を図る。
8. 「一般教養科目」、「基礎科目」、「専門科目」では、各専門分野に応じたキャリア教育、倫理観を養う内容を含む科目を配置する。
9. 学士課程の集大成として、最終年度に卒業研究を配置する。
10. 夜間学部の多様な学生層に対応するため、専門分野を超えて、幅広く関心のある科目を履修できるよう多彩な科目を用意するとともに、他学部、他学科間の履修も可能とし、学生の勉学意欲の向上を図り、多様な学習ニーズに応える教育課程とする。
11. 演習・実験科目では、理学に必要な能力の習熟に加え、レポートやプレゼンテーションを行い、自らの意見を正確に他者に伝える技術を培う。
12. 大学院科目の先行履修も可能とすることにより、勉学意欲の高い学生の要望にも答えられる形にする。
13. 教員を目指す学生のために、理学部第一部との授業相互乗り入れ制度も導入し、4年間で教職課程を履修できるカリキュラムを実施し、未来の教育者をバックアップするため、卒業後の再教育の場を提供する。

理学部第二部 【ディプロマ・ポリシー】 卒業認定・学位授与の方針

実力主義を堅持し、優れた専門知識、倫理観、幅広い視野を持った、何事にも粘り強く取り組める理系人材の養成を目標とし、所定の期間在学し、以下の知識、能力を身に付け、各学科ごとに定める所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学士（理学）の学位を授与する。

1. 「一般教養科目」の履修により、社会、文化、環境等の観点から科学の役割と責任を論じることができ、国際的な広い視野と高い倫理観を身に付け、専門分野の枠を超えて横断的にものごとを俯瞰できる能力。
2. 「基礎科目」、「専門科目」の履修によって、理学に関する基礎的な知識と、その上に立つ専門知識。
3. 修得した専門知識や教養をもとに、根本的な問題に対峙した時に創造的な発想を得て問題を探求し、自律的に知的能力を発展させる能力。
4. 修得した専門分野や教養をもとに、他者とコミュニケーションをとり、国際的な視野を持って活躍できる能力。
5. これらの能力を統合的に実践する場として、各学科の卒業研究において、各々の最先端理学における研究を遂行し、論文等での発表を行う。

I . 2020 年度行事予定・授業日一覧

2020年度 行事予定

変更・訂正等は掲示にてお知らせします。

	日 程	授 業 ・ 試 験 等
4 月	6 日 (月) 8 日 (水)	前期授業開始 入学式
5 月	中旬	3 年生対象 TOEIC・IPテスト
6 月		
7 月	中旬 23 日 (木)	前期到達度評価試験 夏休み開始
8 月		
9 月	上旬 6 日 (日) 14 日 (月)	前期追試験実施 (前期到達度評価試験期間に申込受付) 夏休み終了 後期授業開始
10月		
11月	中旬	東京理科大学理大祭
12月	27 日 (日)	冬休み開始
1 月	6 日 (水) 中旬	冬休み終了 後期到達度評価試験期間
2 月	2 月中旬 2 月下旬	1 年指定必修科目合格発表 後期追試験実施 (後期到達度評価試験期間に申込受付) 第 1 次卒業決定者発表 1 年指定必修科目再試験／卒業・教職一科目再試験
3 月	3 月上旬 3 月中旬 18 日 (木) 予定	第 2 次卒業決定者発表 2 年進級発表 学位記・修了証書授与式 (日本武道館)

2020年度 授業日一覧

【授業期間】 前期 4月6日(月)～9月12日(土)
後期 9月14日(月)～12月26日(土)、1月7日(木)～1月26日(火)
※12月22日(火)～12月24日(木)、1月7日(木)、1月12日(火)は予備日
(休講となった授業が実施されることがあるため注意すること)

【到達度評価期間】 前期 7月16日(木)～7月22日(水)、9月7日(月)～9月12日(土)※
(15、16回目の授業期間) 後期 1月8日(金)・1月9日(土)・1月13日(水)・1月14日(木)・1月18日(月)～1月26日(火)
※東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い、前期到達度評価期間は変則的になるため、各授業内のアナウンス、CLASS及び学内掲示に注意すること。

【授業日一覧】 前期

		月(Mon.)	火(Tue.)	水(Wed.)	木(Thu.)	金(Fri.)	土(Sat.)
前期前半	第1回	4月6日	4月7日	4月15日	4月9日	4月10日	4月11日
	第2回	4月13日	4月14日	4月22日	4月16日	4月17日	4月18日
	第3回	4月20日	4月21日	*4月29日	4月23日	4月24日	4月25日
	第4回	4月27日	4月28日	*5月6日	4月30日	5月1日	5月2日
	第5回	5月11日	5月12日	5月13日	5月7日	5月8日	5月9日
	第6回	5月18日	5月19日	5月20日	5月14日	5月15日	5月16日
	第7回	5月25日	5月26日	5月27日	5月21日	5月22日	5月23日
	第8回	6月1日	6月2日	6月3日	5月28日	5月29日	5月30日
前期後半	第9回	6月8日	6月9日	6月10日	6月4日	6月5日	6月6日
	第10回	6月15日	6月16日	6月17日	6月11日	6月12日	6月13日
	第11回	6月22日	6月23日	6月24日	6月18日	6月19日	6月20日
	第12回	6月29日	6月30日	7月1日	6月25日	6月26日	6月27日
	第13回	7月6日	7月7日	7月8日	7月2日	7月3日	7月4日
	第14回	7月13日	7月14日	7月15日	7月9日	7月10日	7月11日
	第15回	7月20日	7月21日	7月22日	7月16日	7月17日	7月18日
	第16回	9月7日	9月8日	9月9日	9月10日	9月11日	9月12日

後期

		月(Mon.)	火(Tue.)	水(Wed.)	木(Thu.)	金(Fri.)	土(Sat.)
後期前半	第1回	9月14日	9月15日	9月16日	9月17日	9月18日	9月19日
	第2回	*9月21日	*9月22日	9月23日	9月24日	9月25日	9月26日
	第3回	9月28日	9月29日	9月30日	10月1日	10月2日	10月3日
	第4回	10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	10月9日	10月10日
	第5回	10月12日	10月13日	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日
	第6回	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日	10月24日
	第7回	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日	10月31日
	第8回	11月2日	*11月3日	11月4日	11月5日	11月6日	11月7日
後期後半	第9回	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	11月14日
	第10回	11月16日	11月17日	11月18日	11月19日	11月27日	11月28日
	第11回	11月30日	11月24日	11月25日	11月26日	12月4日	12月5日
	第12回	12月7日	12月1日	12月2日	12月3日	12月11日	12月12日
	第13回	12月14日	12月8日	12月9日	12月10日	12月18日	12月19日
	第14回	12月21日	12月15日	12月16日	12月17日	12月25日	12月26日
	※第15回目 (15週目、16週目)	1月18日	1月19日	1月13日	1月14日	1月8日	1月9日
		1月25日	1月26日	1月20日	1月21日	1月22日	1月23日

- 注1. 上記一覧の*については祝日、学園記念日等で休業日であるが、該当する学期・曜日の授業を実施する。
注2. 学期の15週目、16週目のいずれかで15回目の授業または授業内にて到達度評価を行う。
実施週、教室についてはCLASS、学内掲示にて告知する。
注3. 四半期科目については学期の前半は1～8回目の授業週、後半は9～16回目の授業週で計8回の授業を実施する。したがって、四半期後半の授業は上記注2. には該当しない。
注4. 2020年度前期到達度評価期間は、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い変則的になるため、各授業内のアナウンス、CLASS及び学内掲示に注意すること。

Ⅱ. 暴風警報等の緊急時における授業・試験の取扱いについて

台風、大雨、大雪、暴風、地震等の自然災害の発生若しくは発生が予測される場合、又は事故やストライキ等により交通機関が運休した場合の授業等の取扱いは、次のとおりとし、学内の掲示版のほか、本学ホームページ（<http://www.tus.ac.jp/>）及びCLASSにて掲示します。

1. 台風、大雨、大雪、暴風等による授業等の取扱い

台風、大雨、大雪、暴風等により、大学が通学や授業等の実施が困難であると判断した場合に、授業の休講や試験の延期を決定することがあります。

また、台風の接近や大雪警報等、気象状況の悪化が事前に予測できる場合は、前日に授業の休講や試験の延期を決定することがあります。

その場合は原則として、前日の午後9時までに本学ホームページ及びCLASSにて掲示します。

ただし、気象状況の変化が事前に予測できない場合は、当日の朝の状況を見て授業の休講や試験の延期を決定することがあります。

その場合は、原則として当日の午前6時を目途に本学ホームページ及びCLASSにて掲示します。

2. 事故等による交通機関運休時の授業等の取扱い

事故（一時的な運行停止は除く）の発生又は交通機関のストライキ等が予告された場合の授業の休講や試験の延期の措置は、本学ホームページ及びCLASSにて掲示します。

3. 「南海トラフ地震臨時情報」が政府又は気象庁から発せられた場合の授業等の取扱い

政府又は気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発せられた場合の授業の休講や試験の延期の措置は、本学ホームページ及びCLASSにて掲示します。

4. 地震（震度6弱以上）発生時における行動指針等について

まずは身の安全の確保を！ 共助の精神で、皆で助け合って行動してください。

[学内にいる場合の指針]

- ①教職員、非常放送等の指示に従って行動する。
- ②火を見つけたら連絡および初期消火活動を行う。また、ガスや実験用ボンベ等の安全確認を行う。
- ③家族との安否確認を行う。
- ④安否確認システムから届くメールの案内に従い、大学への安否連絡を行う。

[学外にいる場合の指針]

- ①次のうち、最も適切だと考えられる方法をとる。
 - ・帰宅
 - ・最寄の避難所への一時避難
 - ・親戚・友人宅への一時避難
- ②家族との安否確認を行う。
- ③安否確認システムから届くメールの案内に従い、大学への安否連絡を行う。

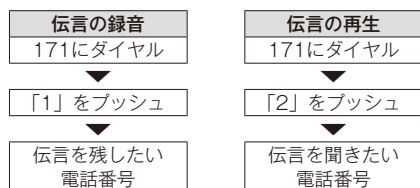
家族との連絡は **NTT災害伝言ダイヤルサービス171**

で、大学への連絡は **安否確認システム（e-革新）** で。

NTT災害伝言ダイヤルサービス「171」

災害発生により被災地への通信が増加し、電話等がつながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

被災地の方が録音した内容を他の地域の方が聞くことができる他、他の地域の方が被災地にメッセージを送ることも可能です。



- 利用端末／NTT一般電話、公衆電話、携帯
- 蓄積伝言数／1電話番号あたり1～20伝言
- 伝言保存期間／災害用伝言ダイヤル（171）の運用期間終了まで

安否確認システム（e-革新）

本学では、学生や教職員の災害時における円滑な安否確認を目的に安否確認システム（e-革新）を導入しています。

[安否連絡の方法]

地震（震度6弱以上）が発生した場合、事前に登録したメールアドレス（※）宛に安否確認システムから安否を確認するメールが配信されます。メールが届いたら案内に従い、自身の安否状況を大学に報告してください。なお、安否を確認する通知はLINEアプリ等での受け取りも可能です。

※安否確認システムの利用には緊急連絡先等の登録が必須です。
登録方法等の詳細については、CLASSのトップページの「CLASSマニュアル」に掲載されている「安否確認システムの概要及びマニュアル」を確認してください。

Ⅲ. 専任教員・授業時間帯・到達度評価試験時間帯

1. 理学部第二部専任教員

学部長	さ さ き たけ お 佐々木健夫				
教 養	かた やま な み お 片山七三雄	きく ち やすし 菊池 靖	もり た たいすけ 森田泰介	かん の さとる 菅野 悟	みやぞえてる み 宮添輝美
	こばやし まさ み 小林真美	おお い なぎさ 大井 渚	おぎはら ゆう じ 荻原祐二		
数 学	こ たにけい こ 小谷佳子	さ こ あきふみ 佐古彰史	みやおか えつ お 宮岡悦良	い どう ひろみち 伊藤弘道	さいとう いさお 齋藤 功
	さ とう たか お 佐藤隆夫	しもかわ あさな お 下川朝有	にっ た やすふみ 新田泰文	たけうち つかさ 竹内 司	の むら じ ろう 野村次郎
	まつもと とし お 松本年男				
物理学	うめむら かず お 梅村和夫	ちよう しんい 趙 新為	ながしま やすゆき 長嶋泰之	にし お た いちろう 西尾太一郎	め ぐろ た か し 目黒多加志
	さかい かずみつ 堺 和光	か せりょう た ろう 加瀬竜太郎	かん そ ぐん 関 蘇軍	なが た ゆう ご 永田祐吾	や はぎりょうこ 矢萩量子
化 学	あき つ たかしろ 秋津貴城	さ さ き たけ お 佐々木健夫	さ たけあきはる 佐竹彰治	やま だ やすひろ 山田康洋	あお き けんいち 青木健一
	き むら つとむ 木村 力	なか ゆ み こ 中裕美子	たかはし よしゆき 高橋芳行	れ ぼん こあ Le Van Khoa	くらもち ゆうすけ 倉持悠輔
	せき あつ し 関 淳志	はら ぐち ともゆき 原口知之			

2. 授業時間帯および到達度評価試験時間帯

授業時間帯

〔月～金曜日〕	
第5時限	16時10分～17時40分
第6時限	18時00分～19時30分
第7時限	19時40分～21時10分

※上記時間帯以外にも授業を行うことがある。

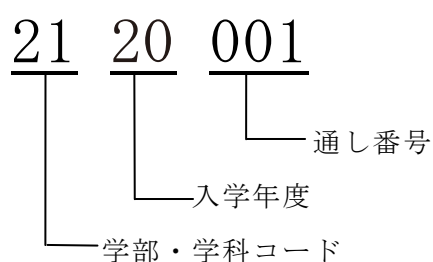
〔土曜日〕	
第2時限	10時30分～12時00分
第3時限	12時50分～14時20分
第4時限	14時30分～16時00分
第5時限	16時10分～17時40分
第6時限	18時00分～19時30分

IV. 学籍番号の表示・クラス編成

1. 学籍番号

学籍番号は7桁表示となっている。試験答案や出席表等には必ずこの7桁すべてを記入すること（学生証に記載されている）。

学籍番号の構成



学 科 名	コード	記号
数 学 科	21	S
物 理 学 科	22	B
化 学 科	23	K

2. クラス編成

理学部第二部では下記のようにクラス分けを行っている。このクラス分けに従い、履修申告および授業を受講することになる。

数学科（S 科）	物理学科（B 科）	化学科（K 科）
1 組 e 1	3 組 e ・ f	5 組 i ・ j
2 組 e 2	4 組 g ・ h	6 組 k ・ l
3 組 e 3		
1 組 a ・ b		
2 組 c ・ d		

例）学部掲示板等には 1S 1 a、2K 6 l のように表示されている。

1 年原級生はクラスが変わるので、年度の始めに学部掲示板で確認すること。2～4 年生はクラスの変更はありません。

また、授業を履修する際には指定されたクラスで履修すること。必修科目（選択必修科目）どうしの重複、勤務上の理由等のやむを得ない場合を除き、クラス変更は認めない。

V. 在学期間（含学部内規）・学年

1. 在学期間

本学部では、次のように在学期間を定めている。各項において休学期間は含まれない。

①在学できる期間は、8年以内とする。

②1年生および1年原級生に在学できる期間は、3年以内とする。

＊本学部では、便宜上、次のように学年を定めている。

- | | | |
|-------|-----|-----------------------------|
| 1年生 | ・・・ | その年度の新入生 |
| 1年原級生 | ・・・ | 前年度以前に入学し、2年次進級条件を満たしていない学生 |
| 2年生 | ・・・ | 前年度までに2年次進級条件を満たして進級した学生 |
| 3年生 | ・・・ | 前年度2年生であった学生 |
| 4年生 | ・・・ | 前年度3年生であった学生 |
| 4年原級生 | ・・・ | 前年度以前に4年生であった学生 |

③学則によって授業料、施設設備費の納付を怠った者は除籍となる。

VI. 履修申告について

1. 履修申告

履修申告は本年度履修する授業科目を登録することである。この履修申告にあたっては、各自「学修簿」・「履修の手引」・「シラバス」を熟読し、「授業時間割」に従って、間違いのないよう学修計画を立てること。

2. 勤務状況の調査

本学部では勤務状況の調査を行っている。履修申告(クラス分け)の際にも関係してくることなので、注意すること（履修申告と同時にCLASSにより行う）。

3. シラバス（授業計画）について

「シラバス（授業計画）」は、CLASSにて公開している。

学内からはターミナル室、または個人所有のパソコンを情報コンセントに接続して閲覧すること。

（シラバス閲覧については「キャンパスライフシステム利用の手引き」に詳細に記載）

なお、シラバスの記載内容は、一部変更することがあり、その場合は、担当教員からあらかじめ説明があるため、注意すること。

4. 【2020年度以降新入生対象】科目ナンバリングについて

■科目ナンバリングについて

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。

本学では、学系毎に科目分類表を作成することで授業科目を分類するとともに、付番基準に基づき科目番号の付番を行うことで科目ナンバリングを行うこととし、2020年度新入生から、全ての学部・研究科で導入することとしました。

■導入の意義

（１）本学における教育課程の体系性の理解促進

科目ナンバリングにより各授業科目の教育課程上の位置づけ、履修順序等を明確にすることで、本学における教育課程の体系性の理解促進が期待されます。

（２）各学科における学修内容の特色の理解促進

学系毎に科目分類表の作成を行うことで、類似学問系統における学科等の学修内容を比較することができ、各学科等における学修内容の特色の理解促進が期待されます。

（３）国際通用性のある環境の整備

授業科目の位置づけやレベルが明確になることで、他大学（特に海外大学）との連携や単位互換等の円滑化が期待されます。

■用語等の説明

【学系】

類似学問系統における付番基準の整合性を担保することを目的に、学部学科、研究科専攻を一定の単位として分類したものです。

【科目分類表】

各授業科目の学系内の学科、学年、科目分野別に分類することで、各学系の授業科目、科目ナンバリングの付番内容を一覧の形で分類したものです。

【付番基準】

科目ナンバリングにより付番した番号を「科目番号」と称し、次の４種類により構成します。

①12	②BBCCC	③4	④56
学部学科・研究科専攻 一般教養科目 教職に関する科目	科目分野	科目レベル	通し番号

① 学部学科・研究科専攻、一般教養科目、教職に関する科目

⇒ 当該科目の開講学科等の区分を表します。

② 科目分野

⇒ 当該科目の学問分野を表します。

③ 科目レベル

⇒ 当該科目のレベルを表します。

④ 通し番号

※各学系の科目分類表の一覧等の詳細については、本学ホームページを参照。

（各授業科目の科目番号は、シラバスにも「科目番号」の形式で公表しています）

【学部】「教育/学部・大学院」⇒「学部・専攻科」⇒「科目ナンバリング」

【大学院】「教育/学部・大学院」⇒「大学院」⇒「科目ナンバリング」

VII. 履修申告の方法

1. 履修申告期間について

(1) 履修申告期間

履修申告期間は下表のとおりとなるので1年間の履修計画を立て、履修申告を行うこと。この期間以外には履修申告することは出来ないので、期間を厳守すること。また、期間内に申告できない学生は事前に理学部二部事務室まで連絡すること。

前期	履修申告期間	4月 6日(月) ～ 4月15日(水)	前期・後期・通年・集中、 <u>すべての科目の履修申告が可能な期間。</u> 期間内であれば登録の追加・変更・削除が可能。
	履修申告確認 ・変更期間	4月21日(火) ～ 4月23日(木)	
	履修取下げ期間	5月11日(月) ～ 5月13日(水)	前期・後期・通年・集中科目の 削除のみ可能
後期	履修申告期間	9月14日(月) ～ 9月21日(月)	後期科目のみ登録の追加・変更・ 削除が可能。
	履修申告確認 ・変更期間	9月25日(金) ～ 9月29日(火)	
	履修取下げ期間	10月12日(月) ～ 10月14日(水)	後期科目の削除のみ可能。

2. 履修申告の方法について

- (1) 履修申告は、各自がCLASSにて、履修科目を登録することにより行う。CLASSの操作方法是「キャンパスライフシステム利用の手引き」を参照すること。
- (2) 履修登録について不明な点がある場合は、理学部二部事務室で必ず確認すること。

3. 履修単位数の制限

卒業所要単位に含む科目に限り、履修申告ができる単位数の上限を年間49単位とする。

＜年間履修上限49単位を超えての履修について＞

本学では、2019年度の入学生（1年生入学のみ）から、前学期までの累積GPAが3.5以上の優れた成績を修得した学生に対して、年間6単位以内で年間履修上限49単位を超えての履修を許可しています。

（CLASSによる履修が可能）

一部の科目（集中講義及び「海外英語研修」）については、年間履修上限49単位に含まれない科目があります。

なお、2018年度以前に入学した学生には適用されません。

4. 履修申告の注意事項

（1）履修申告は、次の内容を確認のうえ、必ず履修申告期間内に履修科目の登録を行うこと。

- ① 前期に履修した授業科目を、その年度の後期に再履修することは、原則としてできない。
- ② 履修申告で登録しなかった科目の受験は認めない。よって成績評価は行わない。
- ③ **各科目は標準履修学年が設けられているが、所属する学年より低学年の授業科目も履修することができる。**なお、上級学年の授業科目の履修は、原則として認められない。
- ④ **授業科目は、指定されたクラスで受講すること。**
- ⑤ **演習を課す科目は、講義と演習を同一クラスで履修すること。**
- ⑥ 重複履修（同一授業時間内に2科目以上の授業科目を同時に履修すること）は認めない。
- ⑦ 一度合格した科目の再履修および成績の変更は認めない。
- ⑧ 内容が同一とみなされる授業科目の履修は認めない。

（2）本年度の授業時間割および履修申告に関する変更・訂正等については、学部・専攻科掲示板（3号館）に掲示するので登下校の際には必ず通覧すること。

5. 大学院授業科目の履修について

理学研究科、理工学研究科、国際火災科学専攻においては、学部学生の履修を認めている。

（1）履修の要件

- ① 履修は本学大学院進学予定の4年生・4年原級生に限る。
- ② 履修できる科目は、4単位までとする。
- ③ 修得した単位は、学部の卒業所要単位に含めることはできない。
- ④ 修得した単位は、大学院（研究科）に進学した際に大学院を修了するための単位に含めることができる。

（2）履修手続き

- ① 履修希望者は「大学院授業科目履修申請書」に必要事項を記入の上、履修申告期間中に理学部二部事務室に提出すること。
- ② 提出された「大学院授業科目履修申請書」をもって履修申告とみなすので、この授業科目に限ってはCLASSから入力する必要はない。

6. その他

(1) 「実験」・「実習」はCLASSによる履修登録のほかに、担当学科等のガイダンス・受講手続きが必要である（日時・方法は別に掲示する）。

(2) CLASSの対応ブラウザについて

CLASSは以下のブラウザに対応しています。

Mozilla Firefox、Google Chrome、Internet Explorer、Microsoft Edge、Safari

※最新版の利用を推奨

また、スマートフォンでの利用が増えていますが、履修登録を始めとした登録機能を利用する場合は、必ず上記の推奨ブラウザで最終確認をおこなってください。

VIII. 卒業見込証明書の発行について

各学科において定める所定の要件を満たした4年次の学生に対して卒業見込証明書を発行する。また、所定の要件については前年度までの成績を対象として判定するが、新年度の前期の成績で要件を満たし、証明書が必要な場合は、理学部二部事務室へ相談してください。

なお、各学科の要件については学修簿及び履修の手引（数学科p27、物理学科p35、化学科p40）を参照すること。

IX. 学修成果の評価について

本学の学修成果の評価は、以下のように定められている。

判定	表記		評価点数	Grade	評価基準（評価の説明）
合格	秀	S	100～90	4.0	到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている
	優	A	89～80	3.0	到達目標を十分に達成している
	良	B	79～70	2.0	到達目標を達成している
	可	C	69～60	1.0	到達目標を最低限達成している
		G		対象外	合格基準を満たしている （合格又は不合格のみにより評価を行う授業科目において使用）
認定		M		対象外	本学における教育職員免許状授与の所要資格を取得するための所要単位として認定できる
		N		対象外	本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定できる （「M」認定以外の授業科目を認定した場合に使用）
不合格	不可	D	59～0	0	到達目標を達成していない
評価不能		—	評価不能	0	学修成果の評価を判断する要件を欠格している

不合格科目又は評価不能と判断された科目の成績について疑義があり、再調査を希望する場合は、理学部二部事務室で手続きを行ってください。

＜GPAについて＞

（１）年度GPAの算出方法

年度GPA＝（当該年度において履修申告した対象授業科目のGrade×当該授業科目の単位数）の総和
／対象授業科目のうち、当該年度において履修申告した対象授業科目の総単位数

（２）累積GPAの算出方法

累積GPA＝（在学全期間において履修申告した対象授業科目のGrade×当該授業科目の単位数）の総和
／対象授業科目のうち、在学全期間において履修申告した対象授業科目の総単位数

※GPAとは、学生の学業成績を客観的かつ厳格に評価することを目的に本学が定めた成績評価値のことです。

※GPA算出対象科目は卒業所要単位数に算入するすべての授業科目です。

※G、M、Nの評価の科目は除きます。

※各学科が定める必修科目において不合格（D）又は評価不能（—）と判定された授業科目で、その後改めて当該科目を履修して合格と判定された場合の、不合格又は評価不能と判定された年度・学期における当該授業科目は除きます。

X. 履修上の注意事項

1. 一般教養科目・教職科目

1. 一般教養科目

(1) 神楽坂キャンパスにおける他学部開講の一般教養科目の履修について

神楽坂キャンパス所属の理学部第一部、理学部第二部、工学部、経営学部の学生は、神楽坂キャンパス内の他学部で開講される、全学共通科目を含む、全ての一般教養科目を、履修することができる。

また、理学部第二部の学生は、神楽坂キャンパス内の他学部にて開講される一般教養科目の単位を修得した場合、所属学部における一般教養科目(選択科目)の卒業要件単位に算入することができる。

(2) 他学部開講の一般教養科目の履修者人数制限について

他学部で開講される一般教養科目は、授業が実施される教室の最大収容人数を定員とする。履修希望者が定員を超過した場合は、抽選とすることがある。なお、抽選の際は、当該科目を開講している学部にも所属する学生を優先するので注意すること。

(3) 他学部開講の一般教養科目の履修条件について

他学部で開講される一般教養科目では、履修条件を設けている科目もある。履修を希望する場合は、当該科目のシラバスを熟読し、予め履修条件等を各自で確認すること。

(4) 理学部第二部開講の一般教養科目の履修における留意点

理学部第二部開講の一般教養科目に関して、履修上の留意点を挙げる。

①全学にわたる一般教養科目の名称変更に伴い、2020年度入学生と、2019年度以前の入学生とでは、科目名称が異なる場合がある。各入学年度における科目名称については、入学時に配布された『学修簿』を確認すること。

【例】 2020年度入学生	2019年度以前の入学生
「芸術 1」	「音楽 1」
「歴史学 1」	「歴史 1」

②「情報機器入門」は、高校において「情報関連の授業」を履修していない、コンピュータに非常に不慣れた学生を対象とした基礎科目である。ゆえに、成績上、最上位の「S」が取りにくくなっていることに留意すること。

③「日本語表現法 3」「日本語表現法 4」「就職対策文章講座」は、1年原級生の履修も可とする。

（５）「健康スポーツA～D（実技）」（体育実技１～４）の履修

2020年度の「健康スポーツA～D（実技）」（体育実技１～４）（月～土曜日）は体育館（５号館）にて実施する。

「健康スポーツA～D（実技）」（体育実技１～４）の履修は原則として学部・学科の区別はなく、どの時限（昼間時限含む）でも履修できる。体育研究室の指示に従って、必ずガイダンスに出席すること。ガイダンスの日時・場所および履修申告の方法は別に掲示する。

☆授業時間割以外の「集中授業」による単位修得について

集中授業には「シーズンスポーツ（３泊４日）」（シーズンスポーツ実習１または２）・「日曜集中（年間５回）」（日曜集中体育実習）のコースがある。詳細については、体育研究室発行の「2020年度・神楽坂地区「保健体育科目」履修上の要点」を参照すること。

（６）新規開講科目

新設年度	科 目 名	週 時間	単位	標準履修 学 年	学修簿変更の対象
2016年度	知 的 財 産 基 礎	2	2	1 年	2015年度以前入学者
2017年度	青 年 心 理 学	2	2	1 年	〃
2019年度	天 文 学 概 論	2	2	1 年	2018年度以前入学者
〃	実 験 心 理 学 ゼ ミ	2	4	2 年	〃
〃	専 門 講 読 セ ミ ナ ー	2	4	2 年	〃
2020年度	情 報 機 器 入 門	2	2	1 年	2019年度以前入学者
〃	法 学	2	2	1 年	〃
〃	科 学 史	1	2	1 年	〃
〃	科 学 史	2	2	1 年	〃

注）以上の科目が学修簿に掲載されていない在学生については、教職単位としては認められません。

(7) 新旧科目対応表

科目名等が以下のとおり変更になっているので、自身の学修簿も参照しながら履修すること。

【新：2020年度以降学修簿、旧：2019年度学修簿】

新科目名	単位	旧科目名	単位	新科目名	単位	旧科目名	単位
生命科学入門	2	生命科学	2	Listening & Speaking 1	1	A 英語 1	2
芸術 1	2	音楽 1	2	Listening & Speaking 2	1		
芸術 2	2	音楽 2	2	Reading & Writing 1	1	A 英語 2	2
文学 1	2	国文学 1	2	Reading & Writing 2	1		
文学 2	2	国文学 2	2	Listening & Speaking 3	1	B 英語 1	2
歴史学 1	2	歴史 1	2	Listening & Speaking 4	1		
歴史学 2	2	歴史 2	2	Reading & Writing 3	1	B 英語 2	2
法学 1	2	法学	2	Reading & Writing 4	1		
異文化コミュニケーション論	2	異文化間コミュニケーション論	2	英語プレゼンテーション 1	1	英語プレゼンテーション	2
健康スポーツA(実技)	2	体育実技 1	2	英語プレゼンテーション 2	1		
健康スポーツB(実技)	2	体育実技 2	2	英語スピーキング 1	1	英語スピーキング	2
健康スポーツC(実技)	2	体育実技 3	2	英語スピーキング 2	1		
健康スポーツD(実技)	2	体育実技 4	2	視聴覚英語 1	1	視聴覚英語	2
				視聴覚英語 2	1		
				ニュース英語 1	1	時事英語	2
				ニュース英語 2	1		

【新：2019年度以降学修簿、旧：2018年度以前学修簿】

新科目名	単位	旧科目名	単位	新科目名	単位	旧科目名	単位
英語スピーキング	2	口語英語 1	2	検定英語 1	1	技能英語 1	1
海外英語研修	2	口語英語 2	2	検定英語 2	1	技能英語 2	1
視聴覚英語	2	放送英語	2	異文化間コミュニケーション論	2	異文化間コミュニケーション論1	2

【新：2017年度以降学修簿、旧：2016年度以前学修簿】

新科目名	単位	旧科目名	単位	新科目名	単位	旧科目名	単位
特別教養講義 1	1	特別教養講義	1	文化論セミナー	2	文化論セミナー 1	2

2. 英語関連科目

卒業には、8 単位以上の英語科目の履修が必要である。必修科目は 1 年次必修科目（4 単位）である。2 年次以上選択必修科目の英語は、1 年次必修科目計 4 単位を修得後、もしくはこれに相当する単位を認定された学生が履修できる。

履修方法や授業名称などが、2020年度入学生と2019年度以前入学生では異なるので、「共通説明」を参照した後、入学年度別の履修方法を参照すること。

● 共通説明

2020年度 理学部第二部・教養における英語科目の分類表

	1 年次必修（4 単位）	2 年次*以上選択必修（4 単位）
一般英語 半期 1 単位	Listening & Speaking 1 Listening & Speaking 2 Reading & Writing 1 Reading & Writing 2	B 英語 1 B 英語 2
特殊英語 通年 2 単位		時事英語 視聴覚英語 英語スピーキング 英語プレゼンテーション
集中 2 単位		海外英語研修

* 1 年原級生を含む

一般英語 (English for General Purposes) :

一般英語は、各学科の時間割で指定されたクラス（以下「標準」とする）を履修する方法と、英語・教職時間割に掲載されたクラス（[Basic] や [Academic]）を履修する方法がある。どちらの場合も原則として、前・後期とも同一時間の同一担当教員の授業を通年で履修すること。

ただし、年度初めの履修に関しては、必修科目との重複など、やむを得ない理由により、指定された「標準」クラスを通年で履修できないこともある。該当する場合には、事務室に申し出ること。検討の上、クラス変更が認められる場合がある。

下記に示したレベル・内容を十分に注意し、入学時の学力調査で行われるTOEIC-IPテストの結果や、各授業のシラバス、各担当教員による授業ガイダンスや指定教科書などを参考に、適切なクラスを選択すること。

標準：標準的な内容を扱う。各学科の時間割に記載されている。

Basic：標準クラスに比べて基礎的なことを扱う。成績上、最上位の「S」が取りにくくなる。TOEIC 400点より高いスコアの学生は、原則履修しないよう注意すること。

Academic：能力別ではなく、現在の英語のレベルに無関係に履修できる。3・4年次以後の専門書・論文やその他アカデミック・フォーマルな英文の読解・作文を最終目標とした授業である。TOEIC・TOEFLなどにも対応している。

- 2020年度入学生

1 年次必修英語は、以下の○印のクラスが設置されている。

	標準	Basic	Academic
Listening & Speaking 1 Listening & Speaking 2	○	○	×
Reading & Writing 1 Reading & Writing 2	○	○	○
時間割表上の記載場所	各学科時間割	英語・教職時間割	

- Listening & Speaking 1、2：

Listening／Speakingを中心に総合的英語能力の向上を目指す。

- Reading & Writing 1、2：

Reading／Writingを中心に総合的英語能力の向上を目指す。

上記の4単位を修得しないと2年次以上の選択必修英語を履修できないので、可能な限り1年次に修得すること。

【2020年度入学者の再履修に関して】

前期科目のListening & Speaking 1、Reading & Writing 1に関しては、単位未取得者のみを対象に、後期土曜日1・2時限にそれぞれ再履修のクラスが設置されているので、可能な限り利用すること。ただし翌年度以後に再履修する場合は同一授業名のどの授業を履修してもよい。

- 2019年度以前入学生

1 年次必修英語の4単位が修得済みかどうかで履修方法が異なる。

1. 1 年次必修英語 4 単位未修得

1 年次必修英語（A英語1、A英語2）の4単位を修得していない学生は、未修得分の授業を履修すること。この学生は原則として2年次以上選択必修英語を履修できない。

2. 1 年次必修英語 4 単位修得済

2 年次以上選択必修英語では、「一般英語」と、「特殊英語」群の英語科目がある。両者を合わせて4単位以上を履修する必要がある。なお、2 年次以上選択必修英語には [Basic] はない。

2 年次以上選択必修英語は、以下の○印のクラスが設置されている。

	標準	Academic	その他
B 英語 1	○	×	×
B 英語 2	○	○	×
各種特殊英語	×	×	○
時間割表上の記載場所	各学科時間割	英語・教職時間割	

*B 英語 2 [Academic] は、A 英語 2 [Academic] を履修していなくても履修できる。

特殊英語 (English for Specific Purposes) :

英語を用いた特定スキルの強化を目指す科目群である。ただし、海外英語研修（集中）は別様となっている。

英語プレゼンテーション：英語によるプレゼンテーション技術を高めることを目的とする。応用的内容を扱うため、スピーキングクラスを履修後もしくはこれに準ずることが望ましい。

海外英語研修：英語圏の提携大学へ約一か月、留学するプログラムである。英語 2 単位として換算する。複数回参加の場合、二回目以降は選択必修の英語科目群より希望の科目に読み替え可能である。

3. TOEIC-IP テストについて（受験料無料）

本年度は各学科 3 年生を対象に本学で実施する。次年度に卒業研究を履修する学生は、原則として受験すること。受験申込受付・実施日時・場所等の詳細は、掲示および学修ガイダンスで説明する。

4. 外国語検定合格者等に対する単位授与

外国語に関し検定試験等で以下のとおり所定の成績を収めた者には最大 4 単位までを認定する。単位の認定を希望する者は検定試験の合格証の写しまたは取得したスコアの写しをもって1 月末日までに 理学部二部事務室に申し出ること。

(1) 実用英語技能検定試験合格者及び、TOEFL及びTOEIC(IPを含む)で所定の成績を収めた学生に対する単位授与

区 分	資格またはスコア	認定単位数	認定科目
実用英語技能検定試験	一級合格者	4 単位	英語（必修）もしくは 英語（選択必修） のうちいずれかの科目
	準一級合格者	2 単位	
T O E F L	P B T 580以上 I T P 580以上 i B T 92以上	4 単位	
	P B T 540～579以上 I T P 540～579以上 i B T 76～91以上	2 単位	
T O E I C	850点以上	4 単位	
	750点～849点	2 単位	

(2) 実用フランス語技能検定試験合格者に対する単位授与

区 分	資格またはスコア	認定単位数	認定科目※
実用フランス語技能検定試験	3 級合格者	4 単位	A フランス語 1、 A フランス語 2、 のうちいずれかの科目
	4 級合格者	2 単位	

※ 旧カリキュラム適用者はフランス語 1、フランス語 2

【注意】

一度単位認定を行った基準内での再度の認定は認められないので、2 単位認定された学生で更に 2 単位認定を希望する学生は、試験区分に係らず 4 単位認定される資格またはスコアを取得すること。

5. 教職課程科目

教職課程は、卒業後教育職員を志す学生のために開設されている教育課程です。教職課程の履修は1年次から始まりますが、事前に学修簿を熟読し、履修の条件や、必要な単位数を理解した上で履修するようにしてください。

また、各授業の履修手続きや各種ガイダンスへの参加が必要になりますので、9号館の理学部第二部掲示板だけでなく、教職教育センターの掲示板も確認するようにしてください。

(1) 各種実験の履修について

① 「物理学実験」・「化学実験」・「生物学実験」の履修（CLASSによる履修申告も必要）

「物理学実験」・「化学実験」・「生物学実験」を履修する学生は、その実験科目のガイダンスに必ず出席すること。ガイダンスの実施については、掲示板からお知らせします。なお、実験実習費が、別途必要となる。

② 「地学実験」の履修（CLASSによる履修申告は不要）

「地学実験1」・「地学実験2」は前期の週間授業及び、8月下旬から9月上旬に野田校舎セミナーハウスにおいて行われる、2泊3日の集中実験により実施する。受講の申し込みは教職教育センターにおいて行うので、履修希望者は掲示板を確認の上申し込みをすること。

なお、受講申込を持って履修申告とするため、自身でCLASSから履修申告を行う必要はない。

(2) 教職科目の中で一般教養として卒業単位に認める科目

【2018年度以前入学生】

① 対象科目

「教育学序説」（2年生）、「学習・発達論」（2年生）、「カウンセリング概論」（3年生）

② 履修条件

特になし。（全学科の学生が一般教養科目として履修できます。）

③ 履修方法

CLASSから履修登録することができます。

【2019年度以降入学生】

① 対象科目

「教職概論」（1年生）、「教育と社会」（2年生）、「発達と教育の心理学」（2年生）、「教育原理」（2年生）

② 履修条件

標準履修学年が2年生の科目は以下のアまたはイのいずれかの条件を満たしている必要があります。

ア 教職課程登録をしている。

イ 「教職概論」を修得済である。

※「教職概論」の履修条件はありません。

③ 履修方法

・「教職概論」はCLASSから履修登録することができます。

・「教育と社会」「発達と教育の心理学」「教育原理」は、教職課程登録をしている場合には、CLASSから履修登録することができます。「教職概論」を修得済で教職課程登録をしていない場合は、自身でCLASSより履修申告が行えないため、履修を希望する場合は理学部二部事務

室に申し出てください。

教育職員免許法等の改正について

2019年から新たな教育職員免許法等が施行したことに伴い、2019年度入学生より教職の新課程が適用されました。

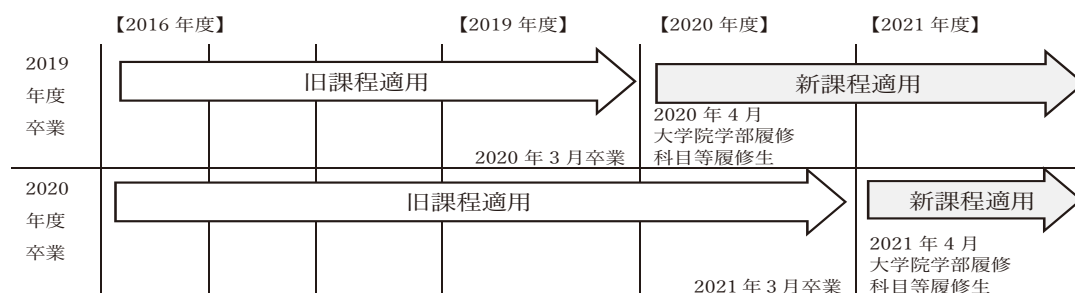
2018年度以前入学生については、従前の教育職員免許法等（旧課程）の適用となりますが、卒業時に教員免許取得に係る所要資格※を満たすことができず、新たに科目を履修する場合には、新課程における教員免許の所要資格を満たす必要があります。

教職課程を履修している学生は、以下の内容と学修簿をよく確認し、十分に注意して履修してください。※この場合の所要資格とは「教職に関する科目」、「教科に関する科目」、「教科又は教職に関する科目」を指します。

1. 免許法適用の取り扱いの変更について

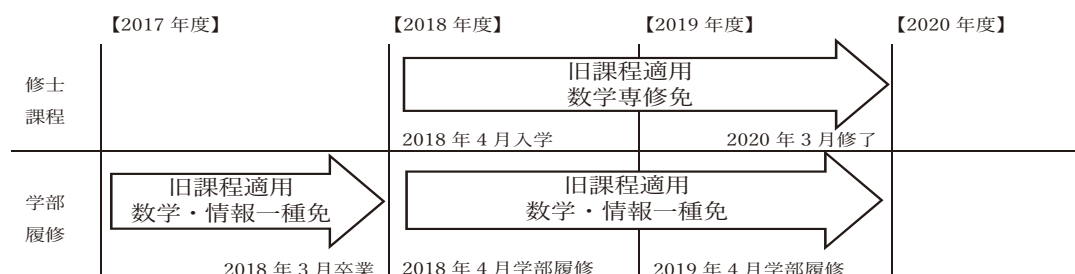
2019年に新課程が開始しましたが、2018年度以前入学者については卒業するまでの間、旧課程が適用されます。

例 1) 在学中に新課程の開始年度を迎える、2016 年度入学者が卒業後不足単位を充足する場合。



在学中に新課程の開始年度(2019 年度)を迎える在学学生は、卒業後即時新課程が適用されますが、在学中に旧課程で所要資格を満たすことができれば、教員免許を取得できます。

例 2) 2018 年 3 月に学部（数学・情報一種免許の課程認定有）を卒業し、2018 年 4 月に大学院修士課程（数学専修免許の課程認定有）に進学後、学部の科目を履修しながら一種免許、専修免許それぞれ所要資格を満たす場合。



数学専修免許については、大学院在学中に学部履修によって旧課程の一種免許所要資格を満たし、更に大学院の科目を履修し、旧課程の専修免許所要資格を満たすことで、専修免許を取得できます。

数学・情報一種免許についても同様に、大学院在学中に旧課程の科目を学部履修することで一種免許を取得することができます。

例3) 転学部・転学科

2018年度以前に入学し、2019年以降に転学部・転学科をした場合、旧課程が適用されます。ただし、入学先の学年によって履修上の齟齬が生じることがありますので転学部、転学科先で教職課程の履修を希望する学生は、所属の学部事務課もしくは教職教育センターへ相談して下さい。

例4) 編入学（旧課程の大学から本学へ編入学している場合）

編入学生については以下のとおりです。入学先の学年によって履修上の齟齬が生じることがありますので教職課程の履修を希望する学生は、入学後、所属の学部事務課もしくは教職教育センターへ相談して下さい。

① 旧課程が適用される場合

2019年以降に本学に入学している学生で、かつ前大学に入学してから、本学に編入学するまで学籍が継続している場合、旧課程が適用されます。

② 新課程が適用される場合

2019年以降に本学に入学している学生で、かつ前大学を既に卒業している場合、もしくは退学後期間が空き、本学に入学している場合、新課程が適用されます。

2. 旧課程から新課程への単位の読み替え

旧課程に入学し、教員免許状取得の所要資格を満たせずに卒業した場合、新たに科目等履修生や、大学院の学部履修等で新課程の所要資格を満たす必要があります。その際、旧課程で取得した単位を以下のとおり新課程に読み替え、不足単位を修得し新課程の所要資格を満たす必要があります。

(1) 文部科学省令に定める科目の履修について

文部科学省令に定める科目については、旧課程で修得した単位をそのまま新課程に読み替えます。旧課程において最低修得単位数（「日本国憲法」2単位、「体育」2単位、「外国語コミュニケーション」2単位、「情報機器の操作」2単位、合計8単位）を修得しきれなかった場合、新課程において不足単位を修得する必要があります。

（２）教職に関する科目（新課程：教育の基礎的理解に関する科目等）

教職に関する科目については、以下のとおり旧課程の科目を新課程に読み替え、不足している科目を履修する必要があります。新課程から新設する必修科目についても履修する必要があります。

授業科目名称		単位数	必修・選択
旧課程	新課程	新課程	
教職概論	教職概論	2	必修
教育学序説	教育と社会	2	必修
教育原理	教育原理	2	必修
教育史※ 1	—	—	—
教育法規※ 1	—	—	—
学習・発達論	発達と教育の心理学	2	必修
教育心理学	教育心理学特論	2	選択
数学科教育論 1・2	数学科教育論 1・2	各 2	必修
数学科指導法 1・2	数学科指導法 1・2	各 2	必修（中学） 選択（高校）
理科教育論 1・2	理科教育論 1・2	各 2	必修
理科指導法 1・2	理科指導法 1・2	各 2	必修（中学） 選択（高校）
情報科教育法 1・2	情報科教育法 1・2	各 2	必修（高校）
道德教育	道德教育	2	必修（中学） 選択（高校）
特別活動※ 2	—	—	—
教育方法・技術	教育方法・技術	1	必修
授業構成法演習	—	—	—
生徒指導論	生徒指導論	2	必修
生徒指導演習※ 2	—	—	—
カウンセリング概論	教育相談の理論と方法	2	必修
教育実習指導	教育実習指導	1	必修
教育実習 1	教育実習 1	2	必修（中学） 選択（高校）
教育実習 2	教育実習 2	2	必修
教職実践演習（中・高）	教職実践演習（中・高）	2	必修

【新設科目】

授業科目名称	単位数	必修・選択
特別支援教育論	1	必修
教育課程編成論	1	必修
総合的な学習の時間の指導法	1	必修
特別活動・進路指導※	2	必修

※ 1 旧課程の「教育史」及び「教育法規」については、2020年度まで開講予定。

※ 2 旧課程の「特別活動」及び「生徒指導演習」の両方を修得済みの場合、新課程の「特別活動・進路指導」に読み替え可能。

(3) 教科に関する科目（新課程：教科に関する専門的事項）

教科に関する科目については、次の表のとおり、旧課程の各科目区分（数学免許：代数学、幾何学・・・、理科免許：物理学、物理学実験・・・）毎に定める必修、選択必修を修得済であれば、新課程で新たに科目を修得する必要はありません。

旧課程から新課程の単位の読み替えについては、カリキュラムの変更により読み替えができないこともありますので、不足単位がある場合には自己判断をせず、所属学部の事務課窓口にお問い合わせください。

例) 数学免許

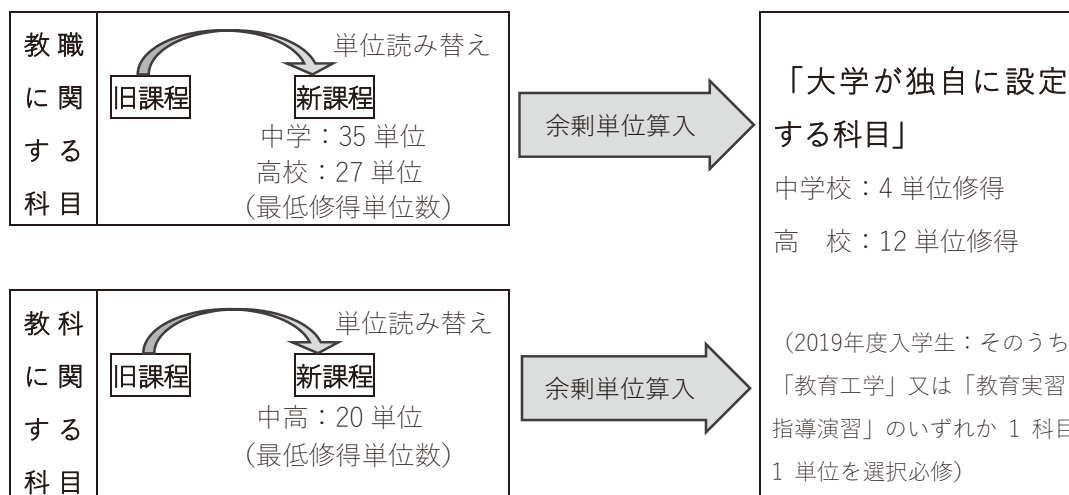
教科に関する科目区分	授業科目	単位数	単位修得の有無
代数学	◎ 線形代数 1	3	修得済み
	◎ 線形代数 2	3	修得済み
・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・
コンピュータ	◎ コンピュータ入門 1	2	修得済み
最低修得単位数		20	

(4) 教科又は教職に関する科目（新課程：大学が独自に設定する科目）

「教科又は教職に関する科目」は新課程から「大学が独自に設定する科目」となりますが、以下

①～③のとおり修得する必要があります。

- ① 「教職に関する科目」及び「教科に関する科目」を旧課程から新課程へ読み替え
- ② ①の単位のうち新課程の最低修得単位数以上に修得している単位を、大学が独自に設定する科目に算入。
- ③ 2019年度入学生：
 - ②の単位を算入し、「教育工学」もしくは「教育実習指導演習」を修得。それでも単位数（中学校4単位、高校12単位）が不足している場合は、新課程の科目を履修。
- 2020年度入学生：
 - ②の単位を算入し、それでも単位数（中学校4単位、高校12単位）が不足している場合は、新課程の科目を履修。



3. 旧課程入学者の新課程科目先行履修について

2018年度以前に入学した旧課程適用の学生は、旧課程の所要資格を満たすことで教員免許状を取得することができます。ただし、卒業までに所要資格を満たす見込みが立たず、卒業後新課程を履修する必要がある学生には、新課程科目の必修・選択必修科目の履修を認めます。

例) 4年次に「教育実習指導」を履修し卒業、大学院に進学後「教育実習1・2」を履修する場合。

ただし、先行履修し修得した単位については、旧課程の単位としては使用することができませんので注意してください。履修を希望する学生は所属学部の事務課窓口に問い合わせてください。

2. 数 学 科

数学科 【カリキュラム・ポリシー】 教育課程編成・実施の方針

1. 建学以来の伝統である理学の普及と実力主義の理念に基づき、1年次の「基礎科目」に閉門制度を設け、真に数学力を身に付けた学生のみを進級させる。さらに、3年次の終わりに卒業見込判定を行い、所定の単位を修得している学生のみを卒業研究ゼミに配属する。また、高度な専門知識を身に付け、それを説明できる表現力やコミュニケーション能力を養うことを目的として卒業研究ゼミは必修とする。
2. 多様な目的意識を持つ学生、及び就職や進学などの多様な進路先を考慮し、純粋数学から応用数学にわたる幅広い分野を網羅したカリキュラムを編成する。さらに、その各々の専門分野においても基礎理論からアドバンストな内容まで学修できるよう多彩な講義を十分に提供し、多様な学生のニーズに応える。
3. 社会人学生を考慮して、必修科目は複数設定し、その一部は6限以降に開講するなどして、無理なく履修できる時間割を整備する。
4. 数学科教員および情報科教員志望の学生のために、中等数学やその教育課程を学修できる科目や情報科学を学修する科目などを含めたカリキュラムを充実させるとともに、教員志望者に対応した卒業研究ゼミを提供する。また、教職課程を履修しても4年間で卒業できるカリキュラムを編成する。
5. 現代社会における多様な価値観を尊重できるような人材を育成するため、語学を含めた一般教養科目を所定の単位数必修とする。また、単に高度な専門知識を習得するだけでなく、それをいろいろな形で表現できるようになるための一般教養科目を開講し、豊かな人間性と魅力ある人材を育成する。さらに、一般教養科目については他学部とも連携し、語学などのクラス指定科目を除き、他学部の科目も履修できるようにする。
6. 高校数学から大学数学への距離感を縮め、よりスムーズに高等数学を学べる状態に到達できるような科目を開講することで、転学部や編入学、シニアの学生などの負担を軽減し、学習意欲を維持させる。
7. 1年次閉門科目と2年次の必修科目に付随して、学生自ら問題発見力、問題解決力を養うためのアクティブラーニングを目的とした演習の科目を開講する。

数学科 【ディプロマ・ポリシー】 卒業認定・学位授与の方針

卒業認定に関しては、建学以来の伝統である実力主義の伝統を堅持する。理学部第二部の学位授与方針の下、所定の期間在学し、所定の単位を修得している学生で以下の知識と能力を身につけた学生に卒業を認定し、学士（理学）の学位を授与する。

1. 「基礎科目」、「専門科目」の履修を通して、高等な現代数学に関する専門的知識。その知識の修得課程に必要となる優れた洞察力や粘り強い論理的思考力、及び問題解決力。加えて、演習や卒業研究ゼミを通して自らの数学を記述・発表するための表現力、及びコミュニケーション能力。
2. 一般教養科目の履修や、様々な境遇の学生とのコミュニケーションを通して身につく、多様な価値観を尊重できる豊かな人間性と高い倫理観。また、数学を学ぶ意義を理解する能力と、社会、文化、人間、平和、地球環境、国際性等の観点から科学の役割と責任を論じる能力。
3. 他学部科目や大学院科目の先行履修などを通して、習得した専門的な知識と技術をより深めようとする探究心。また、根本的な問題に対峙した際に、修得した数学的精神を活かし、創造的で自由な発想の下、専門領域を超えて主体的に問題を深く探求する能力。

以下の事項を熟読し、各ガイダンスにも出席した上で履修申告すること（ガイダンスの詳細については、別に掲示する）。

1. 履修について ー各学年共通ー

（1）一般教養科目の履修

- ①「情報社会及び情報倫理」・「情報と職業」および「日本語表現法1」・「日本語表現法2」の両方を選択することが望ましい。
- ②「Aドイツ語1」・「Aドイツ語2」または「Aフランス語1」・「Aフランス語2」のいずれかを選択することが望ましい。

（2）他学科の授業科目の履修

他学科科目の履修は「学修簿」の授業科目表に記載されている科目のみ認める。
ただし、卒業所要単位に含む科目と含まない科目があるので注意して履修すること。
なお、卒業所要単位に含む場合は、専門選択科目とする。

（3）教育職員免許状の取得希望者へ

教職課程の履修に際しては、教職課程の登録が必要となる。
「学修簿」および「履修の手引」の教職課程の頁を参照し、十分な履修計画を立てること。

（4）他学部開講科目の履修（3・4年生限定）

3年生または4年生で理学部第一部数学科・応用数学科で開講されている専門選択科目を履修希望する場合は、履修申告期間中に所定の「履修申請書」を理学部二部事務室へ提出すること。
履修申告ができる単位数の上限は1年間で12単位とし、修得した単位は専門選択科目の卒業所要単位として認める。ただし、教職課程教科に関する科目区分の単位としては認めない。また、卒業一科目再試験の対象にはならない。
履修申告の可能な科目については、履修申告期間前に学部掲示板で発表する。
なお、人数制限等により履修が認められないこともある。

（5）「ネットワーク概論」「情報ネットワーク基礎」について

「ネットワーク概論」「情報ネットワーク基礎」については、どちらか一方の修得しか認めない。

2. 履修について ― 1 年生・1 年原級生 ―

(1) 1 年指定科目 (2 年進級条件)

1 年指定科目は下記のとおりである。2 年生に進級するためには、これらの科目全てに合格しなければならない。

数学概論 解析学 1 代数学 1 幾何学 1 A

「解析学 1」「代数学 1」「幾何学 1 A」は「講義」と「演習」の時間があるので、両方を履修しなければならない。

(2) 上級学年科目の履修 (1 年原級生のみ対象)

本年度は、下記の場合のみ受講を認める。

基 礎 科 目	プログラミング A プログラミング B
専 門 (教 育) 科 目	統計学 1 離散数学 1 A 統計学研究 計算数学 1 A ・ 1 B 情報処理 A
卒 業 単 位 に 含 む 他 学 科 の 科 目	力学 A 力学 B 物理数学 3
卒業単位に含まない 他 学 科 の 科 目	解析力学 物理学 1 物理学 2 物理学実験 基礎化学 A ・ B 化学実験 基礎生物学 A ・ B * 生物学実験 * 地学 1 * 地学 2 * 地学実験 1 * 地学実験 2 * (条件: * 印の科目については、教職課程登録の手続者のみ)
英 語	B 英語 1 ・ 2 口語英語 1 放送英語 時事英語 英語プレゼンテーション (条件: A 英語 1 及び A 英語 2、計 2 科目の合格者のみ)
教 職	教育原理 教育と社会 発達と教育の心理学 教育心理学特論 道德教育 特別活動・進路指導 生徒指導論 (条件: 2019 年度以降入学生及び教職課程登録の手続者のみ)

原級した場合、4 年間で教員免許を取得することはできません。

また、教職の上記条件に該当する学生でも、自身で CLASS により履修申告が行えないため、履修を希望する場合は、理学部二部事務室に申し出ること。

(3) 数学基礎 A ・ 数学基礎 B の履修 * 編入学生を除く

「数学基礎 A」「数学基礎 B」は 1 年生時に修得すること。2 ～ 4 年生時の履修は認めない。

ただし、「数学基礎 A」「数学基礎 B」を再履修する場合は除く。

3. 履修について ― 2 年生 ―

(1) 上級学年科目の履修

本年度は、下記の場合のみ受講を認める。

学年進行が 1 年 → 1 年 → 2 年 の学生 ⇒ 3 S 対象の専門選択科目 (他学科開講科目は除く)

※ 3 年生対象の教職科目は履修できません。

(2) 数学基礎A・数学基礎Bの履修 *編入学生を除く

「数学基礎A」・「数学基礎B」の履修は認めない。

4. 履修について — 3年生 —

(1) 上級学年科目の履修

本年度は、下記の場合のみ受講を認める。

学年進行が1年→1年→2年→3年 の学生⇒4 S対象の専門科目（他学科開講科目は除く）

(2) 数学基礎A・数学基礎Bの履修

「数学基礎A」・「数学基礎B」の履修は認めない。

5. 履修について — 4年生・4年原級生 —

(1) 数学基礎A・数学基礎Bの履修

「数学基礎A」・「数学基礎B」の履修は認めない。

6. 卒業研究の履修条件（卒業見込証明書発行の条件）

(2008年度～2013年度学修簿適用者)

卒業研究を履修するには、3年以上在学し、3年生終了時までに卒業に必要な124単位のうち下記の単位を含めて84単位以上を修得していなければならない。

専門科目（必修）		12単位
基礎科目	専門基礎	15単位
	基幹基礎	7単位
	関連専門基礎	4単位
一般教養科目	英語（必修）	4単位

(2014年度以降学修簿適用者)

卒業研究を履修するには、3年以上在学し、3年生終了時までに卒業に必要な124単位のうち下記の単位を含めて90単位以上を修得していなければならない。

専門科目（必修）		12 単位
基礎科目	専門基礎	15 単位
	基幹基礎	7 単位
	関連専門基礎	4 単位
一般教養科目	英語（必修）	4 単位

7. 卒業一科目再試験について

卒業一科目再試験は本試験がD評価の場合に限って受験できることがある。ただし必ずしも受験できるとは限らないので注意すること。評価が「一」（評価不能）となっている場合には受験できない。

8. カリキュラムの変更

学修簿の記載内容で、以下の項目が変更になっている。

(1) 新規開講科目

新設年度	科 目 名	週 時間	単位	標準履修 学 年	課 程	学修簿変更の対象
2018年度	データサイエンス A	2	2	3～4 年	専門選択	2017年度以前入学者
〃	データサイエンス B	2	2	3～4 年	専門選択	〃
2020年度	データサイエンス入門	2	2	2～4 年	専門選択	2019年度以前入学者
〃	データ解析入門	2	2	2～4 年	専門選択	〃

注) 以上の科目が学修簿に掲載されていない在学生については、教職単位としては認められません。

＜新旧科目対応表＞

科目名等が以下のとおり変更になっているので、自身の学修簿も参照しながら履修すること。

【新: 2020年度以降学修簿、旧: 2019年度以前学修簿】

新科目名	単位	旧科目名	単位	新科目名	単位	旧科目名	単位
数学史	2	数学史 B	2				

【新: 2019年度以降学修簿、旧: 2018年度以前学修簿】

新科目名	単位	旧科目名	単位	新科目名	単位	旧科目名	単位
情報とマルチメディア	2	情報処理 A	2	情報表現技術	2	情報科学 A	2
情報処理	2	情報処理 B	2	情報通信の科学	2	情報科学 B	2

【新: 2018年度以降学修簿、旧: 2017年度以前学修簿】

新科目名	単位	旧科目名	単位	新科目名	単位	旧科目名	単位
微分幾何入門 A	2	応用数学 2 A	2	情報数学序論 A	2	情報数学序論	4
微分幾何入門 B	2	応用数学 2 B	2	情報数学序論 B	2		

【新: 2016年度学修簿、旧: 2015年度学修簿】

新科目名	単位	旧科目名	単位	新科目名	単位	旧科目名	単位
幾何学 1 A	2	幾何学 1	2	基礎化学 A	2	基礎化学	4
幾何学 1 B	2	幾何学 3 A	2	基礎化学 B	2		
幾何学 1 C	2	幾何学 3 B	2	基礎生物学 A	2	基礎生物学	4
多様体の幾何 A	2	幾何学 4 A	2	基礎生物学 B	2		
多様体の幾何 B	2	幾何学 4 B	2				

3. 物 理 学 科

物理学科 【カリキュラム・ポリシー】 教育課程編成・実施の方針

本学科の理念は本学創設以来の「理学の普及と実力主義」であり、この理念に向かって、夜間の時間帯に「十分な基礎学力の上に高度な専門知識を身に付け、豊かな教養に裏打ちされた強い倫理観と豊かな人間性を持った人材の育成」を行い、物理学科が定める人材育成に関する目的を実現するための学士の教育課程を編成する。真に実力を身に付けた学生のみを卒業させる「実力主義」の伝統を堅持し、厳格な教育課程を実践する。

1. 「一般教養科目」では、教員、研究者、企業人・公務員等様々な学生の進路に対応できるよう、多彩なカリキュラムと時間割を備え、グローバル化・ユニバーサル化に対応できる幅広い教養を持つ人材を育成するとともに、他者と協働で物事を進めることができるように、情報の収集・発表の方法、緻密な論理的思考力を養う内容を含む科目を配置する。
2. 「英語教育」においては学習効果を高める主体的な学びを導く教育を行う。
3. 「基礎科目」には、「専門基礎科目」、「基幹基礎科目」、「関連専門基礎科目」を配置し、物理学の真に基礎的な実力のある学生のみが先端的な「専門科目」の履修ができるよう、1年次から2年次への進級に対して履修が不可欠な関門科目を配置する。
4. 「専門科目」は、「基礎科目」で修得した能力をベースに、物理学の専門知識を深化させ、併せて他の授業科目との関連や学問探求の方法を学び、問題発見・解決能力の育成を図る。
5. 「専門科目」には夜間学部の多様な学生に対応するため、物理学分野を超えて、幅広く関心のある科目を履修できるように多彩な科目を備えるとともに、他学部、他学科間の履修にも柔軟に対応し、学生の勉学意欲の向上を図り、多様な学習ニーズに応える教育課程とする。
6. 「演習・実験科目」では、物理学の問題を解く力や実験技術の修得に加え、レポートやプレゼンテーションを行い、自らの意見を正確に他者に伝える技術の修得をさせ、コミュニケーション能力を培う。
7. 「一般教養科目」、「基礎科目」、「専門科目」には、各専門分野に応じたキャリア教育、倫理観を養う内容を含む科目を配置する。
8. 教員を目指す学生のために、理学部第一部との授業相互乗り入れ制度を導入し、4年間で教職課程を履修できるカリキュラムを実施する。
9. 学士課程の集大成として、最終年度に「卒業研究A」及び選択科目である「卒業研究B」を配置し、研究活動に参加させる。
10. 大学院科目の先行履修も可能とすることにより、勉学意欲の高い学生の要望にも答えられる形にする。

物理学科 【ディプロマ・ポリシー】 卒業認定・学位授与の方針

実力主義を堅持し、優れた専門知識、倫理観、幅広い視野を持った、何事にも粘り強く取り組める理系人材の養成を目標とし、所定の期間在学し、以下の知識、能力を身に付け、本学科が定める所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学士（理学）の学位を授与する。

1. 「基礎科目」、「専門科目」の履修によって、物理学における様々な分野の基礎学力と、その上立つ専門知識。また、これらを用いて論理的に思考する能力、並びに自らの意見を表現するためのコミュニケーション能力。
2. 「一般教養科目」の履修によって、社会、文化、地球環境等の観点から科学の役割と責任を論じることができるような、国際的にも通用しうる広い視野と高い倫理観。
3. 修得した専門知識や教養をもとに、自ら課題を発見し、解決する能力。
4. これらの能力を活かし、各々の最先端物理学の研究を遂行する能力。

以下の事項を熟読し、各ガイダンスにも出席した上で履修申告すること（ガイダンスの詳細については、別に掲示する）。

1. 履修について ―各学年共通―

（1）実験科目（物理学）の履修

新入生以外の実験科目履修者は、学科で指定された手続きに従って実験クラスの申し込みが必要である。手続きに関する掲示に注意すること。

①実験科目の履修者は指定された実験クラスのガイダンスに必ず出席すること。

（ガイダンスに出席できない場合は、必ずガイダンス前日までに実験準備室（1号館7階706号室）に連絡すること）。

＊原則として実験クラスの変更は認めない（実験科目以外の必修科目（再履修）と重複している場合は、再履修の必修科目のクラスを変更すること）。

＊その他、やむを得ない理由で指定された実験クラスでの履修ができない場合でも、まず指定された実験クラスのガイダンスに出席し、指示を受けること。

＊実験科目の履修には、物理学科へ受講手続きを行い、履修を許可されることが必要である。履修を許可された者は、履修申告をWeb画面（CLASS）にて行うこと（履修許可がない者の履修申告は無効である。誤って履修申告を行った場合は、履修申告期間中（確認・変更期間を含む）に履修申告を削除すること。詳細は学部掲示板（3号館）および物理学科掲示板（1号館7階）に掲示する。受講手続きの窓口は実験準備室（1号館7階）が行う。

②実験科目は次のとおり順次履修すること。

基礎物理学実験A・B → 物理学実験1A・1B → 物理学実験2A・2B

＊物理学実験2A・2Bの履修は「物理学実験1A・1B」の単位を修得していることが条件である。

○基礎物理学実験の単位が未修得で、同時履修を必要とする場合、組み合わせが認められるのは「基礎物理学実験A・B」と「物理学実験1A・1B」である。

対象学生は実験準備室（1号館7階）まで申し出ること。

なお、「基礎物理学実験A・B」と「物理学実験2A・2B」の同時履修は、認められない。

(2) 実験科目（化学）の履修

「化学実験」の履修者は化学科の「1. 履修について－各学年共通－」・「(1) 実験科目（化学）の履修」(P. 37)を必ず読み、それに従い履修すること。

(3) 他学科の授業科目の履修

他学科科目の履修は「学修簿」の授業科目表に記載されている科目のみ認める。
ただし、卒業所要単位に含む科目と含まない科目があるので注意して履修すること。
なお、卒業所要単位に含む場合は、専門選択科目とする。

(4) 教育職員免許状の取得希望者へ

教職課程の履修に際しては教職課程の登録が必要となる。
「学修簿」および「履修の手引」の、教職課程の履修の頁を参照し、十分な履修計画を立てること。

(5) その他

下記の科目は講義の理解に役立つので単位を修得しておくことが望ましい。

微分積分学演習 A・B	ベクトル解析	入門力学演習 A・B	
入門電磁気学演習 A・B	力学演習 A・B (力学演習1・2)	電磁気学演習 A・B (電磁気学演習1・2)	量子力学演習 A・B (量子学演習1・2)

(6) 他学部開講科目の履修（3・4年生限定）

3年生または4年生で理学部第一部物理学科で開講されている専門選択科目を履修希望する場合は、履修申告期間中に所定の「履修申請書」を理学部二部事務室へ提出すること。
履修申告ができる単位数の上限は1年間で12単位とし、修得した単位は専門選択科目の卒業所要単位として認める。ただし、教職課程教科に関する科目区分の単位としては認めない。
履修申告の可能な科目については、履修申告期間前に学部掲示板で発表する。
理学部第二部物理学科で開講されている類似科目の履修はできなくなるので注意すること。
なお、人数制限等により履修が認められないこともある。履修が認められなかったときに第二部科目を追加履修できることとするが、その手順については理学部二部事務室で確認すること。

(7) 今年度開講しない科目

下記の科目は今年度は開講しない。
電磁気学2B、量子力学2B、物性論2B、物理特別講義A・B、原子核概論B

2. 履修について －1年生・1年原級生－

(1) 1年指定科目（2年進級条件）

本年度の1年指定科目は下記のとおりである。2年生に進級するためには、これらの科目すべてに合格しなければならない。

微分積分学	入門力学	入門電磁気学
-------	------	--------

(2) 数学序論・物理学序論の履修

「物理学序論1」・「物理学序論2」・「数学序論1」・「数学序論2」は高校数学と高校物理の復習科目である。「入門力学」および「入門電磁気学」の初回の授業時にそれぞれ物理学および数学の小テストを行う。基準点数に満たない者は「物理学序論1」・「物理学序論2」あるいは「数学序論1」・「数学序論2」を受講しなければならない。

(3) 微分積分学演習A・Bの履修

「微分積分学演習A・B」は必修に準ずる科目である。1年生時に修得すること。

(4) 入門力学演習A・B、入門電磁気学演習A・Bの履修

「入門力学演習A・B」・「入門電磁気学演習A・B」は必修に準ずる科目である。
1年生時に修得すること。3～4年生時の履修は認められない。

(5) ベクトル解析の履修

ベクトル解析は入門電磁気学や電磁気学1A・1Bの理解のために必要な内容を学ぶ必修に準ずる科目である。1年生時に修得すること。

(6) 上級学年科目の履修（1年原級生のみ対象）

本年度は、下記の科目について、所定の履修条件を満たした場合のみ履修を認める。

専門科目	物理数学3 物理学実験1A・1B 情報処理1・2 数値解析1・2 (条件:「線形代数学」・「微分積分学」および「入門力学」または「入門電磁気学」の3科目に合格した者のみ)
卒業単位に 含まない科目	基礎化学 化学実験 基礎生物学* 生物学実験* 地学1* 地学2* 地学実験1* 地学実験2* (条件: *印の科目については、教職課程登録の手続者のみ)
英 語	B英語1・2 口語英語1 放送英語 時事英語 英語プレゼンテーション (条件: A英語1及びA英語2、計2科目の合格者のみ)
教 職	教教育原理 教育と社会 発達と教育の心理学 教育心理学特論 道徳教育 特別活動・進路指導 生徒指導論 (条件: 2019年度以降入学生及び教職課程登録の手続者のみ)

原級した場合、4年間で教員免許を取得することはできません。

また、教職の上記条件に該当する学生でも、自身でCLASSにより履修申告が行えないため、履修を希望する場合は、理学部二部事務室に申し出ること。

3. 履修について — 2年生 —

(1) 前期に履修した授業科目の同一年度後期再履修について

以下の科目については、2019年度は同一年度内の再履修を許可する。

履修申告は、前・後期それぞれの時期に行うこと。

(ア) 入門量子力学 (イ) ベクトル解析

(2) 上級学年の履修

学年進行が1年→1年→2年の学生の場合、3年生対象の教職科目は履修できません。

4. 履修について ― 3 年生 ―

(1) 履修の前提条件

物理学実験 2 A・2 B の履修 : 物理学実験 1 A・1 B の単位を修得していること
電磁気学 2 A・2 B (電磁気学 2) の履修 : 電磁気学 1 A・1 B (電磁気学 1) を修得していること

(2) 前期に履修した授業科目の同一年度後期再履修について

以下の科目については、2019年度は同一年度内の再履修を許可する。

履修申告は、前・後期それぞれの時期に行うこと。

(ア) 入門量子力学 (イ) ベクトル解析

5. 履修について ― 4 年生・4 年原級生 ―

(1) 卒業研究 A の履修条件

卒業研究 A は必修科目であり、これを履修しないと卒業資格が得られない。

① 4 年生または 4 年次 3 年生であることが履修資格である。

(2) 卒業研究 A の実施方法について

後期末試験最終日の試験後に行われる卒研・就職ガイダンスで申込用紙を配布し、2 月中の締切りまでに履修申込を行う。卒業研究 A は通年で開講する。

(3) 卒業研究 B の履修条件

卒業研究 B は履修することが望ましい。履修希望者は卒業研究 B 受講申込書を指定期間内に提出すること。ただし卒業研究 B を履修するためには、次の二つの条件を満たしていなければならない(編入生を除く)。

- ① 3 年次までの必修科目(選択必修含む)のうち、未修得科目が 2 科目以内であること。
- ② 卒業に要する未修得の単位が 30 単位以下であること。

ただしこれらの条件を満たしていれば必ず履修可能であるとは限らない。履修の可否および配属先研究室は書類・面接等で決定される。配属先研究室が公表された時点で履修登録され必修科目扱いとなり、以後の履修登録の取り消しはできない。

したがって、当該科目が不合格の場合には、当該年度の卒業はできなくなる。

(4) 卒業見込証明書発行の条件

卒業見込証明書は前年度末の時点で次の 2 つの条件を同時に満たした場合に発行する。

- ① 3 年次までの必修科目(選択必修含む)のうち、未修得科目が 2 科目以内であること。
- ② 卒業に要する未修得の単位が 30 単位以下であること。

(5) 前期に履修した授業科目の同一年度後期再履修について

以下の科目については、2019年度は同一年度内の再履修を許可する。

履修申告は、前・後期それぞれの時期に行うこと。

(ア) 入門量子力学 (イ) ベクトル解析

（６）卒業一科目再試験について

卒業一科目再試験は本試験がD評価の場合に限って受験できることがある。ただし必ずしも受験できるとは限らないので注意すること。評価が「－」（評価不能）となっている場合には受験できない。「数学基礎A」・「数学基礎B」の履修は認めない。

6. カリキュラムの変更

学修簿の記載内容で、下表の項目が変更になっている。

＜新旧科目対応表＞

科目名等が以下のとおり変更になっているので、自身の学修簿も参照しながら履修すること。

【新：2020年度以降学修簿、旧：2019年度学修簿】

新科目名	単位	旧科目名	単位	新科目名	単位	旧科目名	単位
力学演習A	2	力学演習1	2	宇宙物理学A	2	宇宙物理学1	2
力学演習B	2	力学演習2	2	宇宙物理学B	2	宇宙物理学2	2
電磁気学演習A	2	電磁気学演習1	2	生物物理学A	2	生物物理学1	2
電磁気学演習B	2	電磁気学演習2	2	生物物理学B	2	生物物理学2	2
量子力学演習A	2	量子力学演習1	2	コンピュータ入門	2	コンピュータ入門B	2
量子力学演習B	2	量子力学演習2	2	数値解析	2	数値解析1	2
量子力学2	2	量子力学2A	2	物理数学演習A	2	物理数学演習1	2
電磁気学2	2	電磁気学2A	2	物理数学演習B	2	物理数学演習2	2
原子核概論	2	原子核概論A	2	情報処理	2	情報処理1	2
量子光学A	2	量子光学1	2	素粒子論	2	素粒子論1	2
量子光学B	2	量子光学2	2	原子分子物理学	2	原子分子物理学A	2
一般相対論	2	相対論A	2	数学序論A	2	数学序論1	2
物性論2	2	物性論2A	2	数学序論B	2	数学序論2	2
連続体力学	2	弾性体力学	2	物理学序論A	2	物理学序論1	2
地球物理学	2	地球物理学1	2	物理学序論B	2	物理学序論2	2

【新：2019年度学修簿、旧：2018年度以前学修簿】

新科目名	単位	旧科目名	単位	新科目名	単位	旧科目名	単位
情報表現技術	2	情報科学A	2	情報通信の科学	2	情報科学B	2

【新：2018年度以降学修簿、旧：2017年度以前学修簿】

新科目名	単位	旧科目名	単位	新科目名	単位	旧科目名	単位
微分幾何入門A	2	応用数学2A	2	微分幾何入門B	2	応用数学2B	2

【新：2016年度学修簿、旧：2015年度学修簿】

新科目名	単位	旧科目名	単位	新科目名	単位	旧科目名	単位
基礎化学A	2	基礎化学	4	基礎生物学A	2	基礎生物学	4
基礎化学B	2			基礎生物学B	2		

4. 化学科

化学科【カリキュラム・ポリシー】教育課程編成・実施の方針

1. 化学は物質に関するあらゆる知識を基に新しい物質を作っていく学問である。化学の知識を使えば分子の性質を理解することができ、さらにその成果を応用して新たな物質を創生することもできる。科学技術における幅広い分野の基幹をなす学問である。このため、化学の基礎に関する正しい理解と、幅広い応用分野に関する広い知識を持った人材を育成する。
2. 真に実力を身に付けた学生のみを卒業させる「実力主義」の伝統を堅持し、厳格な教育課程を実践する。段階的な知識の修得を図るため、一般的素養を深めるための「一般教養科目」、各専門分野の基盤をなす「基礎科目」及び「専門科目（必修）」、各専門分野に応じた進路に必要な能力を養うための「専門科目（選択）」を体系的に配置する。
3. 化学の本質を理解するために必要な物理化学・無機化学・有機化学に重点をおいて「基礎科目」をおき、これらの履修を1年次から2年次への進級に必要な条件（関門科目）とする。
4. 実験実習を重視し、化学の実験操作を実践的に学ばせ、レポート作成やプレゼンテーションを行うことにより、自らの考えや意見を他者に正確に伝える能力およびコミュニケーション能力を培う。また、物質に対する探究心と理論的な考察能力を身に付けさせる。
5. 「一般教養科目」では、教員、研究者、企業人・公務員等様々な学生の進路に対応できるよう、多彩なカリキュラムと時間割を備え、グローバル化・ユニバーサル化に対応できる幅広い教養を持つ人材を育成するとともに、厳密な論理的思考力を身に付け、情報の収集・発表の方法を学び、多様な価値観を持つ他者と協働で物事を勧められるようになることを目標とする授業科目を配置する。
6. 英語教育においては、少人数クラスや習熟度別クラスを取り入れ、学習効果を高める主体的な学びを導く教育を行う。
7. 「一般教養科目」、「基礎科目」、「専門科目」では、各専門分野に応じたキャリア教育、倫理観を養う内容を含む科目を配置する。
8. 学士課程の集大成として、最終年度に卒業研究を配置し、最先端の化学を研究実験等を通じて実践的に身に付けさせる。また、社会人学生など時間的に実践的な研究が困難な学生に対しては、ゼミ形式の卒業研究科目を配置することによって、化学に関わる幅広い内容を身につける場を設ける。
9. 理科教員を目指す学生のために、理学部第一部との授業相互乗り入れ制度も導入し、4年間で教職課程を履修できるカリキュラムを実施し、未来の教育者をバックアップするため、卒業後の再教育の場を提供する。
10. 社会人学生も4年間で卒業が可能となるような時間割編成とする。
11. 大学院科目の先行履修も可能とすることにより、勉学意欲の高い学生の要望にも答えられる形にする。

化学科【ディプロマ・ポリシー】卒業認定・学位授与の方針

理学部第二部・化学科では、真に実力を身に付けた学生のみを卒業させる「実力主義」の伝統を堅持するために、学則に定められた所定の期間在学し、以下の知識、能力を身に付け、学科が定める所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し学士（理学）の学位を授与する。

1. 「基礎科目」「専門科目」の履修によって、化学に関する基礎的な知識やそれを修得するための技法を利用して論理的に思考する能力、並びに自らの意見を表現するためのコミュニケーション能力を習得する（記述、プレゼンテーション等）。
2. 「一般教養科目」の履修により、社会、文化、環境等の観点から科学の役割と責任を論じることができ、国際的な広い視野と高い倫理観を身に付け、専門分野の枠を超えて横断的にものごとを俯瞰できる能力。
3. 修得した専門知識や教養をもとに、根本的な問題に対峙した時に創造的な発想を得て、問題を探索し、自律的に知的能力を発展させる能力を習得する。
4. 修得した専門知識や教養をもとに、他者とコミュニケーションをとり、国際的な視野を持って活躍できる能力を身に付ける。

上記1～4の能力を統合的に実践し、課題発見力、解決力を養う機会として、最終年度に卒業研究を遂行し、最先端の化学研究分野に触れ理解を深めたうえで、自らの習得内容を発表する。

以下の事項を熟読し、各ガイダンスにも出席した上で履修申告すること（ガイダンスの詳細については、別に掲示する）。

1. 履修について ―各学年共通―

（1）実験科目（化学）の履修

①実験科目の履修について

実験科目の履修については、初回の授業時に実施されるガイダンスに必ず出席し受講の許可を得たうえでCLASSから履修申告すること。

また、実験のクラスについては原則として変更が認められていないが、必修科目の再履修による重複等で指定クラスを変更したい場合には、受講を希望する側の実験ガイダンスに出席し担当教員から許可を得たうえでCLASSから履修申告すること。

②実験科目は次のとおり順次履修すること。

基礎化学実験 → 一般化学実験／無機化学実験 → 有機化学実験／物理化学実験

＊一般化学実験と無機化学実験の履修は、基礎化学実験の単位を未修得でも履修が認められる。

＊有機化学実験と物理化学実験の履修は、一般化学実験または無機化学実験の単位を修得していることが条件である。

（2）実験科目（物理学）の履修

「物理学実験」の履修者は物理学科の「1. 履修について―各学年共通―」・「（1）実験科目（物理学）の履修（P. 27）」を必ず読み、それに従い履修すること。

（3）他学科の授業科目の履修

他学科科目の履修は「学修簿」の授業科目表に記載されている科目のみ認める。

ただし、卒業所要単位に含む科目と含まない科目があるので注意して履修すること。

なお、卒業所要単位に含む場合は、専門選択科目とする。

〔卒業単位に含まない他学科の科目〕の開講曜日および開講時間は、他学科の時間割を参照すること。

（4）卒業所要単位数を超えて修得した関連専門基礎科目の単位の取扱い

専門科目の修得単位とすることはできない。

（5）教育職員免許状の取得希望者へ

教職課程の履修に際しては教職課程の登録が必要となる。

「学修簿」および「履修の手引」の、教職課程の履修の頁を参照し、十分な履修計画を立てること。

（6）他学部開講科目の履修（3・4年生限定）

3年生または4年生で理学部第一部化学科で開講されている専門選択科目を履修希望する場合は、履修申告期間中に所定の「履修申請書」を理学部二部事務室へ提出すること。

履修申告ができる単位の上限は1年間で12単位とし、修得した単位は専門選択科目の卒業所要単位として認める。ただし、教職課程教科に関する科目区分の単位としては認めない。

履修申告の可能な科目については、履修申告期間前に学部掲示板で発表する。

2. 履修について — 1 年生・1 年原級生 —

(1) 1 年指定科目 (2 年進級条件)

本年度の 1 年指定科目は下記のとおりである。2 年生に進級するためには、これらの科目すべてに合格しなければならない。

基礎無機化学 基礎有機化学 基礎物理化学

(2) 履修科目の選択に際して

「基礎化学 1」・「基礎化学 2」は、高校で化学・物理学・数学が十分な修得状況になかった学生を対象としている。将来の科目履修を円滑にすることを目的とし、全般にわたり基礎となる考え方ならびに学問領域間の関連性を重視した科目である。時間の許す限り履修することが望ましい。

(3) 上級学年科目の履修 (1 年原級生のみ対象)

本年度は、下記の科目について、所定の履修条件を満たした場合のみ履修を認める。

専門(選択)科目	地球環境化学	無機工業化学 1 (本年度開講せず)	無機工業化学 2 (本年度開講せず)	(条件:基礎無機化学の合格者のみ)
	結晶学 (本年度開講せず)	有機工業化学 1 (本年度開講せず)	有機工業化学 2 (本年度開講せず)	化学熱力学概論 (条件:基礎有機化学および基礎物理化学、計 2 科目の合格者のみ)
	情報処理入門 1・2 (本年度開講せず) (条件:数学 1, 2・微分積分学 1, 2・物理学 1, 2・応用物理学 1, 2、計 8 科目の合格者のみ)			
	物理学実験			
卒業単位に 含まない科目	生物学実験 地学実験 1	地学 1 地学実験 2	地学 2	(条件:教職課程登録の手続者のみ)
英 語	B 英語 1・2 英語プレゼンテーション	口語英語 1	放送英語 時事英語	(条件:A 英語 1 及び A 英語 2、計 2 科目の合格者のみ)
教 職	教育原理 道德教育	教育と社会 特別活動・進路指導	発達と教育の心理学 生徒指導論	教育心理学特論 (条件:2019 年度以降入学生及び教職課程登録の手続者のみ)

原級した場合、4 年間で教員免許を取得することはできません。

また、教職の上記条件に該当する学生でも、自身で CLASS により履修申告が行えないため、履修を希望する場合は、理学部二部事務室に申し出ること。

3. 履修について — 2 年生 —

(1) 履修上の注意

「一般化学実験」と「無機化学実験」の履修 ← 基礎化学実験の単位を未修得でも履修は可能

(2) 履修科目の選択に際して

物理化学系の選択科目を履修するのは「物理化学 1-1、1-2」の修得後が望ましい。同様に、無機化学系の選択科目の履修は「無機化学 1-1、1-2」、有機化学系の選択科目の履修は「有機化学 1-1、1-2」の修得後が望ましい。

4. 履修について — 3 年生 —

(1) 3 年専門科目の履修条件

無機化学2-1, 2-2 有機化学2-1, 2-2 物理化学2-1, 2-2	の履修	条件：2 年生終了時までに以下の 1 年生の必修科目すべてに合格していること		
		基礎無機化学	基礎有機化学	基礎物理化学
		数学 1	物理学 1	情報処理及び演習 1
		数学 2	物理学 2	情報処理及び演習 2
		基礎化学実験		
有機化学実験 物理化学実験	の履修	条件：一般化学実験または無機化学実験に合格していること		

(2) 卒業研究安全特別講義について

① 履修条件

3 月上旬に「卒業研究」履修の内定を得ていること。

② 履修について

「A・B 卒業研究」履修の内定を得た後、卒業年次（4 年生）の「A・B 卒業研究」を開始するには卒業研究安全特別講義（3 月中旬開講予定の集中講義）に合格する必要がある。

当該科目は卒業研究履修内定者に対して自動的に履修登録されるので、掲示やCLASS等にて発表される授業日程に従って必ず受講すること。

5. 履修について — 4 年生・4 年原級生 —

(1) 卒業研究の履修条件

A 卒業研究、B 卒業研究、C 卒業研究（特別研究）のうち、どれか一つの単位を修得した場合、残りの卒業研究（特別研究）を履修することはできない。また、同年度に 2 つ以上の卒業研究（特別研究）を履修することはできない。

（2014 年度以前学修簿適用者）

卒業年次の学生は「卒業研究」もしくは「特別研究」を履修することが望ましい。

卒業研究の履修条件は、下記のとおりである。

未修得の専門必修科目が 2 科目以内の場合

ただし、一般教養科目英語（必修）4 単位を修得していないと、次年度での卒業ができなくなるので注意すること。

（A・B 卒業研究、および特別研究は一度履修すると必修科目扱いとなる。したがって、単位を修得できない場合は、その年度の卒業はできなくなる）

（2015 年度以降学修簿適用者）

A・B 卒業研究の履修条件は、下記のとおりである。

未修得の専門必修科目が 2 科目以内の場合

ただし、一般教養科目英語（必修）4単位を修得していないと、次年度での卒業が出来なくなるので注意すること。なお、C卒業研究は4年生であれば特に履修条件を設けないが、一度履修し単位を修得した場合、次年度以降A・B卒業研究の履修は認めないので注意すること。

（２）卒業見込証明書発行の条件

卒業見込証明書は前年度末の時点で下記の条件を満たした場合に発行する。

3年次までの修得単位数が94単位以上（卒業所要単位数に含まない修得単位数は除く）

かつ、未修得の専門必修科目が4科目以下の場合

ただし、一般教養科目英語（必修）4単位を修得していないと、次年度での卒業ができなくなるので注意すること。

（３）卒業一科目再試験について

卒業一科目再試験は本試験がD評価の場合に限って受験できることがある。ただし必ずしも受験できるとは限らないので注意すること。評価が「－」（評価不能）となっている場合には受験できない。

6. カリキュラムの変更

学修簿の記載内容で、以下の項目が変更になっている。

（１）新規開講科目

新設年度	科 目 名	週時間	単位	標準履修年	学修簿変更の対象
2016年度	生 化 学 3	2	2	1～4年	2015年度以前入学者
2020年度	英 語 で 考 え る 化 学 1	2	2	3～4年	2019年度以前入学者
〃	英 語 で 考 え る 化 学 2	2	2	3～4年	〃

注）以上の科目が学修簿に掲載されていない在学生については、教職単位としては認められません。

（２）本年度開講しない科目

科 目 名	週時間	単位	標準履修年	備 考
コロイド化学	2	2	3～4年	※1
結 晶 学	2	2	2～4年	※1
無機工業化学1	2	2	2～4年	※1
無機工業化学2	2	2	2～4年	※1
有機化学5	2	2	2～4年	
有機工業化学1	2	2	2～4年	
有機工業化学2	2	2	2～4年	
生化学3	2	2	1～4年	
生物学	2	2	2～4年	
生体触媒化学	2	2	2～4年	
知的所有権法	2	2	2～4年	
情報処理入門1	2	2	2～4年	
情報処理入門2	2	2	2～4年	

※1 理学部第一部において同様の科目を開講しているので、履修を希望する学生は、別途掲示を確認し履修申告すること。

＜新旧科目対応表＞

科目名等が以下のとおり変更になっているので、自身の学修簿も参照しながら履修すること。

【新：2019年度以降学修簿、旧：2018年度以前学修簿】

新科目名	単位	旧科目名	単位	新科目名	単位	旧科目名	単位
有機化学Ⅰ	2	天然物化学	2	卒業研究防災安全特別講義	1	卒業研究安全特別講義	1

【新：2018年度以降学修簿、旧：2017年度以前学修簿】

新科目名	単位	旧科目名	単位	新科目名	単位	旧科目名	単位
微分幾何入門A	2	応用数学ⅡA	2	微分幾何入門B	2	応用数学ⅡB	2

【新：2016年度学修簿、旧：2015年度学修簿】

新科目名	単位	旧科目名	単位	新科目名	単位	旧科目名	単位
応用数学ⅡA	2	応用数学Ⅱ	4	基礎生物学A	2	基礎生物学	4
応用数学ⅡB	2			基礎生物学B	2		

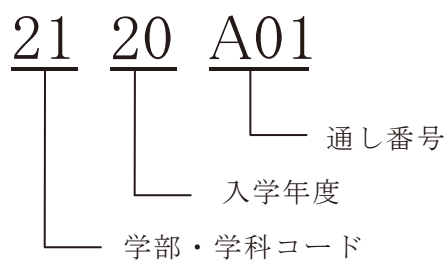
XI. 理学専攻科

1. 学籍番号および授業・試験時間帯について

(1) 学籍番号

学籍番号は7桁表示となっている。試験答案や出席表などには必ずこの7桁すべてを記入すること。

学籍番号の構成



学 科 名	コード	記号
数 学 専 攻	21	S C

(2) 授業・試験時間帯

① 授業時間帯

〔月～金曜日〕	
第5時限	16時10分～17時40分
第6時限	18時00分～19時30分
第7時限	19時40分～21時10分

〔土曜日〕	
第2時限	10時30分～12時00分
第3時限	12時50分～14時20分
第4時限	14時30分～16時00分
第5時限	16時10分～17時40分
第6時限	18時00分～19時30分

※上記時間帯以外にも授業を行うことがある。

2. 履修申告について

履修申告は本年度履修する授業科目を登録することである。この履修申告にあたっては、各自「**学修簿**」・「**履修の手引き**」・「**シラバス**」を熟読し、「**授業時間割**」に従って、間違いのないよう学修計画を立てること。

(1) 履修申告期間

履修申告期間は下表のとおりとなるので1年間の履修計画を立て、履修申告を行うこと。この期間以外には履修申告することは出来ないので、期間を**厳守**すること。また、期間内に申告できない学生は事前に理学部二部事務室まで連絡すること。

前期	履修申告期間	4月 6日(月) ～ 4月15日(水)	前期・後期・通年・集中、 <u>すべての科目の履修申告が可能な期間。</u> 期間内であれば登録の追加・変更・削除が可能。
	履修申告確認 ・変更期間	4月21日(火) ～ 4月23日(木)	
後期	履修申告期間	9月14日(月) ～ 9月21日(月)	後期科目のみ登録の追加・変更・削除が可能。
	履修申告確認 ・変更期間	9月25日(金) ～ 9月29日(火)	

(2) 履修申告方法について

履修申告は、各自がCLASSにて、履修科目を登録することにより行う。CLASSの操作方法是「キャンパスライフシステム利用の手引き」を参照すること。

また、履修登録について不明な点がある場合は、理学部二部事務室で必ず確認すること。

3. 履修申告に関する注意

(1) 本年度履修するすべての授業科目を登録すること。

履修申告で登録しなかった科目の受験は認めない。よって成績評価は行わない。

(2) 同一授業時間内に2科目以上の授業科目を同時に履修することは、認めない。

(3) 一度合格した科目の再履修および成績の変更は認めない。

(4) 内容が同一とみなされる授業科目の履修は認めない。

(5) **履修については、「学修簿」および「履修の手引」を参照して申告すること。**

(6) 本年度の授業時間割および履修申告に関する変更・訂正等については、専攻科掲示板(3号館1階)に掲示するので、登下校の際には必ず通覧すること。

4. 学部授業科目の履修について

(1) 専攻科生が高等学校教諭一種または中学校教諭一種免許状を取得する場合、または自己の専攻に関して必要な科目がある場合、**理学部第二部の授業科目**の履修を認めることがある。

＊1年間に履修できる学部授業科目の総単位数は、原則として**20単位以内**である。

＊**他学部履修は、認めていない。**

(2) 数学専攻の学生が「理科」および「情報」の免許状を取得するために学部授業科目を履修する場合は、手続きを行う前に、理学部二部事務室まで相談すること。なお、適用する学部学修簿は本年度のものとする。

(3) 専攻科生で、学部授業科目の履修出願者は以下の手続きを行うこと。なお、詳細については専攻科掲示板にて発表する。

「学部授業科目履修願」に
履修願出科目を記入



理学部二部事務室へ提出
(履修申告期間内)

履修する学科の授業時間割を参照し、
必要事項をすべて記入すること。

5. 「教職課程」の履修について

教職課程を履修する学生は、4月に行う教職課程登録ガイダンスに出席し、「教職課程登録」をする必要があります。本学出身者で学部時に既に登録している学生は、再度登録する必要はありませんが、学籍が継続していない学生は再度登録してください。

また、一種免許を取得していない学生で、履修すべき科目がわからない場合には、学部の学修簿を配付するので、9号館3階理学部二部事務室へ相談に来てください。

6. その他

他大学出身者は必要に応じ、学部の学修簿を配布するので、該当者は理学部二部事務室に申し出ること。特に、教職課程の項を熟読すること。

XII. 証明書の自動発行について

〈証明書自動発行機を操作する前に、必ずお読みください〉

証明書自動発行機は、証明書を即時発行します。

自動発行に際しては、証明書発行機用のパスワードを使用します。

パスワードは、ますます発展高度化する情報化社会では、自分の分身と同じです。厳重に管理し、他人に教えるような行為は慎んでください。自分が被害を受けるだけでなく、他人に被害を及ぼすことになったり、知らない間に加害者になることさえあります。

パスワードの管理に不安がある場合は、すぐに変更することが肝要です。

本システムでは、パスワードを変更した場合、変更の翌日より新パスワードで操作できます。

なお、証明書発行機用のパスワードに数字・英字以外の特殊文字を使用している場合、本システムでは、「ー」（ハイフン）に置き換わります。

【証明書自動発行機の設置場所】

9号館2階

【稼動時間帯】

授業期間……………平 日 8:30～21:30 (日曜・祝日は休止)
土曜日 8:30～19:30

到達度評価試験期間……………平 日 8:30～21:30 (土曜・日曜・祝日は休止)

夏期・冬期・春期休暇期間……平 日 8:30～19:30 (土曜・日曜・祝日は休止)

入学試験期間等、稼動時間帯が変更になる場合があるので、掲示に注意すること。

窓口での取扱い時間帯は従来どおりなので、別掲示を参照すること。

【自動発行できる証明書】

①在学証明書 ②卒業見込証明書、修了見込証明書 ③成績・卒業見込証明書
④成績証明書 ⑤健康診断票 ⑥学割証

【証明書交付願の発行】

上記①～⑥以外の証明書を申請する場合

証明書自動発行機から、証明書交付願を発行して、申請すること。

【操作手順】

- (1) 学生証を証明書発行機にかざす。
- (2) 証明書発行機用のパスワードを入力する。
- (3) グループ（各種証明書または証明書交付願）を選択する。
- (4) 「証明書の種類」または「交付願の種類」を選択する。
- (5) 「部数」を選択する。
- (6) 「学割証」は、使用目的を選択する。
- (7) 「選択完了」を押す。
- (8) 手数料を投入し、「発行」を押す。
- (9) 「証明書交付願」は必要事項記入後、理学部二部事務室へ窓口時間内に申請する。

【操作についての注意】

- (1) 1回に最高3種類の証明書・交付願が、各5通、合計15通まで発行できます。
ただし、「学割証」は1回に2通が限度です。年間10通まで使用できます。
- (2) 1回の操作で5,000円分まで利用できます。

【発行区分・手数料】

証 明 書 種 別		証明書 1 通あたりの手数料	
		学部生	専攻科生
* 自動発行	在学証明書	100 円	100 円
	卒業見込証明書	100 円	
	修了見込証明書		100 円
	成績・卒業見込証明書	200 円	
	成績証明書（在学用）	100 円	発行しません
	健康診断票（所見の記入が不要な者）	100 円	100 円
	学割証（1 回 2 通まで、年間 10 通まで）	無料	無料
	仮学生証（試験用）	100 円	100 円
** 証明書交付願発行	教育免許状取得見込証明書	100 円	100 円
	成績証明書（卒業・修了決定時申請用）	200 円	200 円
	卒業証明書（卒業決定時申請用）	200 円	
	修了証明書（修了決定時申請用）		200 円
	調査書（学部生に限る）	300 円	
	各種英文証明書	1,000 円	1,000 円
	学生証（再発行）	2,000 円	2,000 円
	健康診断票（所見の記入が必要な者） （指定用紙での発行を希望する者）	100 円	100 円
その他の証明書		保健室へ申請してください 理学部二部事務室へお問い合わせください	

* 自動発行：証明書自動発行機にて、即時発行します。

** 証明書交付願発行：証明書自動発行機にて証明書交付願を発行しますので、必要事項を記入した後、理学部二部事務室へ申請してください。仮学生証、各種英文証明書を除き、原則として翌々窓口日に交付します。なお、受付後 3 か月を経過しても受領しない場合は破棄します。

【諸注意】

- (1) 提出先より[厳封の証明書]と指示がある場合は、理学部二部事務室に申し出てください。
- (2) 科目履修生は、直接理学部二部事務室へお問い合わせください。
- (3) 自動発行以外の証明書の作成については、種類によって日数がかかります。
- (4) 在学生の成績証明書は前年度までの成績を証明します。本年度の成績は表示しません。
- (5) 「その他の証明書」は、種類によって金額が変わります。
- (6) 調査書は次のとおりになります。

学部生 …… 自動発行機より成績証明書を発行し、調査書に貼り付け調査書発行願（在学用300円）を発行し、添付して理学部二部事務室へ申請してください。

専攻科生 …… 自動発行機より、調査書発行願（卒業生用）を発行し、調査書の用紙を添付して、理学部二部事務室へ申請してください。

○データサイエンス教育プログラムについて

近年社会的な趨勢として、ビックデータから価値ある情報を生み出し、様々な意思決定の局面において、データに基づいて合理的な判断を行うことを可能とするデータサイエンスに関する能力が求められています。データサイエンス教育プログラムではそのような社会的なニーズを背景にデータサイエンスに係る知識・技術を修得できるプログラムとなっており、在籍するキャンパス、学部学科・研究科専攻にかかわらず、横断的にデータサイエンスに関する授業科目を履修することができます。

○データサイエンス教育プログラムの構成

データサイエンス教育プログラムは、以下の2つから構成されます。

【学部生対象】：データサイエンス教育プログラム [基礎]

【大学院生対象】：データサイエンス教育プログラム [専門]

○【学部生対象】 データサイエンス教育プログラム [基礎]

データサイエンス教育プログラム [基礎] は、データサイエンスに関する基礎知識やリテラシーを学修することができる教育プログラムです。修了要件を満たした場合には「データサイエンス認証書 [基礎] (Data Science Certificate [Basic])」(以下「DSC [Basic]」という。)を学長から授与します。

【対象学生】

学部生

【データサイエンス教育プログラム [基礎] の修了要件】

5つの各分野 [①数学、②統計学、③情報学、④データサイエンス、⑤その他 (学科特有の「データを扱う授業」)] から、それぞれ4単位をB評価以上の計20単位修得すること。

【科目一覧】

科目一覧の詳細はCLASSに掲載します。CLASSの「データサイエンス関連」を参照してください。

※自学科科目でDSC [Basic] の修了要件を満たすことができない場合は、他学部、他学科履修を利用し、単位を修得してください。

※受入の可否に「○」が記載されている科目については、原則として、他学部、他学科の学生も履修できます。ただし、履修者数等により、履修できない場合がありますので、他学部、他学科履修を希望する場合は、各学部で定めるルールに従い履修申告してください。

※科目一覧は、以下のとおり入学した年度によって異なりますので、ご注意ください。

(1) 2019年度以前に入学した学生 : 2019年度 (在学生用) 科目一覧

(2) 2020年度に入学した学生 : 2020年度 (入学年用) 科目一覧

(3) 編入学生 (転学部転学科、再入学等) の入学年度は、学籍番号の3・4桁目の数字により、判断してください。

(例: 学籍番号 **19*** の場合、入学年度は2019年度適用のため、(1)の科目一覧参照。)

【認定科目（M、N判定）の取扱い】

認定科目（M、N評価）は、他大学等での成績評価における合格判定評価内の最下位の評価でない場合B評価以上とみなし、修了要件を満たす単位として認めます。ただし、上限は10単位とします。

【手続き方法】

（１）プログラムへの参加申込

申込期間：4月中旬～5月下旬（改めてCLASSでお知らせします）

申込方法：CLASSの「お知らせ」から申込すること

（２）データサイエンス認証書〔基礎〕（DSC〔Basic〕）の申請手続

申請期間：9月中旬～1月下旬（改めてCLASSでお知らせします）

申請方法：CLASSの「お知らせ」から申請すること

申請資格：修了要件を満たしている又は満たす予定であり、かつ、今年度中に認証書の授与を希望するもの

○(参考)【大学院生対象】データサイエンス教育プログラム〔専門〕について （学部生は参加不可）

【大学院生対象】のデータサイエンス教育プログラム〔専門〕は、データサイエンスに関する専門的な知識・技術等を学修することができる教育プログラムです。本プログラムは各キャンパスの特色を活かしたコース制としており、修了要件を満たした場合には「データサイエンス認証書〔専門〕（Data Science Certificate〔Applied〕）」を学長から授与します。

【対象学生】

大学院生（修士課程、博士後期課程、博士課程）

※大学院生であれば参加可能

【7つのコース】

- ・神楽坂キャンパス：数理コース、ビジネスコース
- ・野田キャンパス：人工知能コース、医薬コース
- ・葛飾キャンパス：機械学習コース、医療統計コース、インフォマティクスコース

【データサイエンス教育プログラム〔専門〕の修了要件】

各コース単位で8単位をB評価以上で修得すること

※実データを扱う科目（1科目以上）の単位修得を必須とします。実データを扱う科目については、科目一覧で確認することができます。

※学部開講科目については、大学院生が学部授業科目の履修制度によって単位修得（B評価以上）した場合のみ、修了要件を満たす単位として認めます。

（学部生の時に単位修得した〔専門〕の学部開講科目は、大学院進学後に〔専門〕の修了要件を満たす単位として扱うことができませんので、ご注意ください。）

【科目一覧】

科目一覧の詳細はCLASSに掲載します。CLASSの「データサイエンス関連」を参照してください。

※実データを扱う科目は、「実データの活用」欄に「○」が記載されています。

2020年度理学部第二部授業時間割

【授業時間割表の見方】

通年、前期、後期、集中の別	担当教員			
クラス→	1S1a	通	Reading & Writing1	845
	1S1b			835
	1S2c			
	1S2d			
		授業名		
			教室番号	

【教室番号の見方】

12〇:1号館2階12〇教室

1011:10号館1階1011教室

11-〇:11号館11-〇教室

1G3Fターミナル:1号館3階ターミナル教室

11G1F:11号館1階ターミナル教室

資料館3F・4F:資料館3・4階ターミナル教室

＜ 集 中 講 義 ＞	
集 離散数学2A	秋山 仁、小谷 佳子
集 情報科学B	石井 忠司

		木			金			土					
		5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)	7時限 (19:40～21:10)	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)	7時限 (19:40～21:10)	3時限 (12:50～14:20)	4時限 (14:30～16:00)	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)		
1S1a	1S e1	後 幾何学1A 新田 泰文 234	後 情報数学序論A 小谷 佳子	前 情報数学序論A 宮岡 悦良 後 情報数学序論B 11G1Fターミナル	前 Listening & Speaking 1 (A英語1) 染谷 昌弘 132	通 代数学1演習 野村 次郎 341	前 数学基礎A 遠藤 博 353	後 幾何学1A演習 竹内 司 351	前 数学概論 伊藤 弘道・松本 年男 221 →				
					後 Listening & Speaking 2 (A英語1) 高野由美子 11-2								
1S1b	1S e2		通 解析学1演習 松本年男 832	前 Listening & Speaking 1 (A英語1) 山田 恵子 343	前 情報数学序論A 小谷 佳子 下川 朝有	後 幾何学1A演習 竹内 司 242							
1S2c											後 Listening & Speaking 2 (A英語1) 瀬上 和典 835	後 情報数学序論B 11G1Fターミナル	後 数学基礎B 遠藤 博 353
1S2d	1S e3												
2S1a	通 代数学2 佐藤 隆夫 622	通 解析学2 齊藤 功 211	前 位相数学研究A 新田 泰文 松本 年男 231 後 位相数学研究B 新田 泰文 松本 年男 231	通 B英語2 高野由美子 11-2	前 幾何学1B 佐古 彰史 211 後 幾何学1C 佐古 彰史 211								
2S1b													
2S2c										通 統計学1 宮岡 悦良 832	通 統計学研究 小谷 佳子 223 川崎 玉恵	前 位相数学1A 酒井 祐典子 323 後 位相数学1B 酒井 祐典子 323	通 B英語2 横山 康明 841 山田 恵子 332
2S2d													
2-4S		前 複素解析A 松岡勝男 212 後 複素解析B 松岡勝男 212 後 化学実験 Le Van Khoa ・中裕美子 (17:50～21:35) 10-4F第5実験室 →	前 幾何学研究 廣田祐士 321	前 物理学3 長嶋・加瀬 351	前 計算数学1A 小山 大介 343 後 計算数学1B 小山 大介 343	前 物理学実験 佐東 信司・高橋 忍 (12:50～16:35) → 後 物理学実験 佐東 信司・高橋 忍 (12:50～16:35) →							
3-4S	前 数学のための英語B 片山七三雄 231	前 代数学3A 新妻 弘 851	前 関数解析A 齊藤 功 222 後 関数解析B 齊藤 功 222	前 データ処理A 吉澤 敦子 1G3Fターミナル	前 計算機統計学A 宮岡 悦良 1G3Fターミナル	後 情報ネットワーク基礎 菊池 靖 136	後 システムアドミニストレータ入門 大井 渚 (12:50～17:40) 別途掲示 (3コマ×5回の不定期開講)		前 数学科教育論1 須田 学 321				
	後 数学のための英語A 片山七三雄 231	後 代数学3B 新妻 弘 851		後 データ処理B 吉澤 敦子					後 数学科教育論2 須田 学 321				
	前 代数学特講A 新妻 弘 351	後 離散数学2B 津垣 正男 242		後 物理学4 加瀬竜太郎 351									
	後 代数学特講B 新妻 弘 351	前 統計学特講A 清水 邦夫 222		前 微分幾何入門A 佐古 彰史 834	前 多様体の幾何A 吉岡 朗 134 後 多様体の幾何B 吉岡 朗 134 前 実解析A 三村与士文 232 前 実解析B 三村与士文 232		前 量子力学1A 長嶋 泰之 211 後 量子力学1B 長嶋 泰之 211						
	後 統計学特講B 清水 邦夫 222	後 統計学特講A 清水 邦夫 222		後 微分幾何入門B 佐古 彰史 834									
	前 位相数学特講1A 佐藤 隆夫 341	後 位相数学特講1A 佐藤 隆夫 341											
	後 位相数学特講1B 佐藤 隆夫 341	前 電磁気学2A 長嶋 泰之 335											
	前 電磁気学2A 長嶋 泰之 335												

2020年度 理学部第二部 物理学科 授業時間割

＜ 集中講義 ＞	
集 情報科学B 集 離散数学2A	石井 忠司 秋山 仁、小谷 佳子

	月			火			水		
	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)	7時限 (19:40～21:10)	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)	7時限 (19:40～21:10)	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)	7時限 (19:40～21:10)
1B3e	前 物理化学基礎 小野 勇 241	前 Listening & Speaking 1 (A英語1) 石原 久子 344	宇井 隆晴 11G1Fターミナル	通 入門力学 西尾 太一郎 624	通 微分積分学 堺 和光 623	前 微分積分学演習A 塩川 高雄 851	前 基礎物理学実験A 目黒・枅内・金井・塩川・関・永田 624・621 後 基礎物理学実験B 目黒・枅内・金井・塩川・菊地・関・永田 624・621		
1B3f		後 Listening & Speaking 2 (A英語1) 山田 恵子 841				後 微分積分学演習B 塩川 高雄 851			
1B4g	前 Listening & Speaking 1 (A英語1) 山田 恵子 841	前 微分積分学演習A 塩川 高雄 321				後 コンピュータ入門 (コンピュータ入門B)			
1B4h	後 Listening & Speaking 2 (A英語1) 増田 秀夫 11-2	後 微分積分学演習B 塩川 高雄 321							
2B3e	通 B英語2 石原久子 344	前 力学演習1 矢萩・堺 223	前 入門相対論 堺 和光 222	前 熱力学演習 加瀬・堺 851	通 B英語1 染谷昌弘 335	前 入門量子力学 西尾 太一郎 624		前 力学A 加瀬電太郎 623	前 電磁気学1A 梅村 和夫 623
2B3f		後 力学演習2 堺 和光 223						後 力学B 加瀬電太郎 623	後 電磁気学1B 梅村 和夫 623
2B4g	前 入門相対論 堺 和光 621	通 B英語2 並木 幸充 134			前 物理学実験1A 長嶋・趙・小林・金井 224 →	通 B英語1 張替涼子 344			
2B4h		後 力学演習2 加瀬電太郎 223			後 物理学実験1B		多湖 純佳 243		
3B3		前 物理学実験2A 梅村・西尾・枅内・高橋・関 621 → 後 物理学実験2B		前 統計力学1 堺・矢萩 623	後 統計力学演習 矢萩 量子 853			前 量子力学演習1 矢萩 量子 351 後 量子力学演習2 矢萩 量子 351	
3B4									
2-4B	後 データ解析入門 宮岡 悦良 1G3Fターミナル	通 統計学1 下川朝有 211	前 解析力学 坂本 玲峰 323	前 数値解析1 小松 伸行 1G3Fターミナル	前 相対論A 山野辺基雄 621	前 宇宙物理学1 加瀬電太郎 621	前 数値解析2 菊地勝浩 資料館3F		
	後 電気化学 渡辺正 233	通 代数学研究 佐藤隆夫 野村次郎 832	後 高分子概論 中、青木 11-6	後 数値解析1 小松 伸行	後 相対論B 山野辺基雄 621	後 宇宙物理学2 加瀬電太郎 621	前 位相数学1A 豊田 雅孝 222		
		通 統計学研究 下川朝有 351 川崎玉恵	前 基礎化学A 野村 貴美 841 後 基礎化学B 野村 貴美 841	通 代数学2 遠藤 博 832		前 幾何学1B 新田泰文 231	後 位相数学1B 豊田 雅孝 222		
		前 地球物理学1 新井 正一 844	通 代数学研究 伊藤 弘道 (前)山本 光 (後)坂場綾子 842	前 離散数学1A 小谷 佳子 231		後 幾何学1C 新田泰文 231			
		後 地球物理学2 新井 正一 844		後 離散数学1B 小谷 佳子 231		前 幾何学2A 池田 文男 233			
						後 幾何学2B 池田 文男 233			
3-4B	前 物理化学A 小野 勇 241	前 反応速度論概論 小林義男 11-7	前 解析学3A 伊藤 弘道 344	後 統計力学2 堺・加瀬 621	前 弾性体力学 真島 裕樹 851	後 分子構造論2 則伯 恭夫 11-6		前 材料科学1 野村貴美 11-6	
	後 物理化学B 小野 勇 842	後 材料科学3 小林義男 11-7	後 解析学3B 伊藤 弘道 344	前 数学科教育論1 佐古 彰史 852	後 流体力学 真島 裕樹 844	前 理科教育論1 川村 康文・井上 正之			
	前 情報科学A 石井 忠司 11G1Fターミナル	前 確率過程入門A 竹田 裕一 624 後 確率過程入門B 竹田 裕一 851	前 材料科学2 佐々木・中 231	後 数学科教育論2 佐古 彰史 852	前 量子光学1 目黒多加志 834 後 量子光学2 目黒多加志 834	6-4F理科実験室 後 理科教育論2 川村 康文・井上 正之 6-4F理科実験室			

		木			金			土			
		5時限（16:10～17:40）	6時限（18:00～19:30）	7時限（19:40～21:10）	5時限（16:10～17:40）	6時限（18:00～19:30）	7時限（19:40～21:10）	3時限（12:50～14:20）	4時限（14:30～16:00）	5時限（16:10～17:40）	6時限（18:00～19:30）
1B3e	前 Reading & Writing 1 (A英語2)	池田史彦 223	前 微分積分学演習A 小宮 全 351	通 入門電磁気学 長嶋 泰之 211	前 ベクトル解析 西尾 太一郎 353	前 線形代数学A 池田 文男 624		前 入門電磁気学演習A 市村 淳 231	前 入門力学演習A 鈴木健司 853	前 物理学序論A 山本 浩義 234 後 物理学序論B 山本 浩義 234	前 数学序論A 半田 真 224 後 数学序論B 半田 真 224
1B3f	後 Reading & Writing 2 (A英語2)	中須賀稚子 834	後 微分積分学演習B 小宮 全 351			後 線形代数学B 池田 文男 624		後 入門電磁気学演習B 市村 淳 321	後 入門力学演習B 鈴木健司 853		
1B4g			前 Reading & Writing 1 (A英語2)		瀬上 和典 835		後 ベクトル解析 坂本 玲峰 321	前 入門力学演習A 鈴木健司 853	前 入門電磁気学演習A 市村 淳 231		
1B4h			後 Reading & Writing 2 (A英語2)		菅野 悟 241			後 入門力学演習B 鈴木健司 853	後 入門電磁気学演習B 市村 淳 321		
2B3e	前 物理数学演習1 坂本 玲峰 241	前 物理実験1A 趙・梅村・目黒・飛田・小林 224 →	前 物理数学演習1 坂本 玲峰 233 後 物理数学演習2	前 熱力学 日黒 多加志 212						前 電磁気学演習1 山本 和義 232 後 電磁気学演習2 山本 和義 232	
2B3f	後 物理数学演習2	後 物理実験1B		後 振動・波動学 日黒 多加志 212		前 物理数学1 趙 新為 622					
2B4g					後 入門量子力学 坂本 玲峰 353	前 熱力学 日黒 多加志 212	後 物理数学2 趙 新為 622				前 電磁気学演習1 山本 和義 232 後 電磁気学演習2 山本 和義 232
2B4h						後 振動・波動学 日黒 多加志 212					
3B3								前 量子力学1A 長嶋泰之 211 後 量子力学1B 長嶋泰之 211			
3B4					前 物理学実験2A 西尾・長嶋・高橋・永田 621 → 後 物理学実験2B						
2-4B	通 代数学2 佐藤隆夫 622	通 統計学研究 小谷佳子 223	前 複素解析A 松岡 勝男 212 後 複素解析B 松岡 勝男 212 後 化学実験 Le Van Khoa ・中裕美子(17:50～21:35)10-4F第5実験室 →	前 物理数学3 長嶋・加瀬 351	前 計算数学1A 小山 大介 343	前 幾何学1B 佐古彰史 211	前 情報処理1 小松 伸行 224 後 情報処理2 小松 伸行 224	前 情報処理1 小松 伸行 224 後 情報処理2 小松 伸行 224			
	通 統計学1 宮岡 悦良 832	川崎玉恵		前 物性論1A 趙 新為 223	後 計算数学1B 小山 大介 343	後 幾何学1C 佐古彰史 211					
	後 化学熱力学概論 高橋 芳行 11-1	前 複素解析A 松岡 勝男 212		後 物性論1B 趙 新為 223	前 応用数学2A (微分幾何入門A) 佐古 彰史 834						
		後 複素解析B 松岡 勝男 212		前 応用数学2B (微分幾何入門B) 佐古 彰史 834	前 位相数学1A 酒井 祐貴子 323						
				後 位相数学1B 酒井 祐貴子 323							
3-4B	前 生物物理学1 梅村 和夫 224	前 素粒子論1(4年) 曹 基哲 844	前 素粒子論2 曹 基哲 844 前 電磁気学2A 長嶋泰之 335 後 量子力学2A 長嶋泰之 335 前 離散数学2B 津垣正男 242	後 物理数学4 加瀬竜太郎 351	前 分子構造論1 星野 翔麻 11-6 前 データ処理A 吉澤 教子 後 データ処理B 1G3Fターミナル	後 情報ネットワーク基礎 菊池 靖 136			前 理科教育論1 荘司隆一 後 理科教育論2 荘司隆一 6-4F理科実験室・241 前 数学科教育論1 須田 学 321 後 数学科教育論2 須田 学 321		
	後 生物物理学2 梅村 和夫 224										
	後 原子核概論A 未定 835										
	前 プラズマ物理 佐藤浩之助 844										
	後 放射線物理 佐藤浩之助 844										
	後 物性論2A 趙・西尾・堺 333										
	前 代数学特講A 新妻 弘 351										
	後 代数学特講B 新妻 弘 351										

2020年度 理学部第二部 化学科 授業時間割

＜ 集 中 講 義 ＞
集 卒業研究防災安全特別講義

月2 英語で考える化学1 831
月2 英語で考える化学2 831

【卒業単位に含まない他学科の科目】は、他学科の時間割を参照すること。

「1号館3階」「11号館1階」「資料館3階」「資料館4階」の表示は、ターミナル室

	月			火			水				
	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)	7時限 (19:40～21:10)	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)	7時限 (19:40～21:10)	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)	7時限 (19:40～21:10)		
1K5i	前 物理学1 橋本 巖 11-1	前 基礎化学1 高橋 芳行 11-1	前 数学1 遠藤 博 331		前 情報処理及び演習1 Le Van Khoa	前 Reading & Writing 1 (A英語2) 石原 久子 333	前 生物学1 古島理江子 1011	通 基礎無機化学 山田 康洋 11-1	後 基礎化学2 高橋 芳行 1011		
1K5j	後 物理学2 11-7		後 数学2		後 情報処理及び演習2 11号館1階	後 Reading & Writing 2 (A英語2) 菅野 悟 843	後 生物学2 1011				
1K6k	通 基礎有機化学 木村 力 1011		前 情報処理及び演習1 Le Van Khoa		前 Reading & Writing 1 (A英語2) 北田伸一 834	前 物理学1 橋本 巖 622	通 基礎物理化学 青木 健一 11-7			前 生物学1 古島理江子 11-6	
1K6l			後 情報処理及び演習2 資料館3階		後 Reading & Writing 2 (A英語2) 石原 久子 333	後 物理学2	後 生物学2				
2K5i	前 分析化学1 中 裕美子 11-6	前 一般化学実験 秋津貴城・島田恵理子 後 無機化学実験 山田康洋・工藤善之 (17:50～22:40)→		前 無機化学1－1 山田 康洋 11-1 後 無機化学1－2 山田 康洋 11-1	通 B英語1 染谷 昌弘 343						
2K5j	後 機器分析学1 中 裕美子 11-1	前 一般化学実験 工藤善之・関 淳志 後 無機化学実験 島田恵理子・関 淳志 (17:50～22:40)→			宮添 輝美 831						
2K6k	通 B英語2 中須賀稚子 343	前 分析化学1 中 裕美子 11-6			通 B英語2 BHAILA BIRENDRA 343						前 一般化学実験 倉持悠輔・工藤善之 後 無機化学実験 秋津貴城・野村 貴美 (17:50～22:40) →
2K6l		後 機器分析学1 中 裕美子 11-1									
3K5i								前 有機化学2－1 佐竹 彰治 1011 後 有機化学2－2 木村 力 1011			
3K5j											
3K6k											
3K6l											
2-4K	後 錯体化学概論 秋津 貴城 234	前 地球環境化学 渡辺 正 233	前 地球物理学1 新井 正一 844	前 解析力学 坂本 玲峰 323			前 情報科学 小野 勇 資料館3階	前 力学A 加瀬竜太郎 623			
		後 電気化学 渡辺 正 233	後 地球物理学2 新井 正一 844	後 高分子概論 中・青木 11-6			後 情報科学 小野 勇 資料館4階	後 力学B 加瀬竜太郎 623			
3-4K		前 反応速度論概論 小林義男 11-7	前 化学のための英語 片山七三雄 853	前 材料科学2 佐々木・中 231			後 機器分析学2 貫名 学 341		前 材料科学1 野村 貴美 11-6		
		後 材料科学3 小林義男 11-7					後 分子構造論2 則包恭央 11-6		後 有機工業化学3 青木 健一 11-6		
							前 理科教育論1 川村 康文・井上 正之 6-4F理科実験室				
							後 理科教育論2 川村 康文・井上 正之 6-4F理科実験室				

	木			金			土			
	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)	7時限 (19:40～21:10)	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)	7時限 (19:40～21:10)	3時限 (12:50～14:20)	4時限 (14:30～16:00)	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)
1K5i		前 Listening & Speaking 1 (A英語1) 池田史彦 231	前 応用物理学1 齋藤麻由美 831	前 微分積分学1 池田 和正 331	通 基礎物理化学 青木 健一 11-6	通 基礎有機化学 木村 力 11-1	前 基礎化学実験	佐竹 彰治 ・ 矢島 博文		
1K5j		後 Listening & Speaking 2 (A英語1) 山田 恵子 831	後 応用物理学2	後 微分積分学2			前 基礎化学実験	原口 知之		
1K6k	前 Listening & Speaking 1 (A英語1) 瀬上 和典 831	通 基礎無機化学 秋津 貴城 11-1		前 微分積分学1 池田 和正 832	前 数学1 二階堂行海 1011	後 基礎化学実験	佐竹 彰治 ・ 矢島 博文			
1K6l	後 Listening & Speaking 2 (A英語1)		前 Listening & Speaking 1 (A英語1) 菅野 悟 134	後 微分積分学2	後 数学2	後 基礎化学実験	原口 知之			
2K5i	通 B英語2 宮添 輝美 845		前 物理化学1－1 青木健一 1011 後 物理化学1－2 佐々木健夫 1011		前 有機化学1－1 佐竹彰治 11-1	通 B英語2 高野 由美子 11-2				
2K5j					通 B英語1 山田 恵子 332 横山 康明 841					
2K6k										
2K6l										
3K5i		前 物理化学2－1 佐々木健夫 11-6 後 物理化学2－2 佐々木健夫 11-6	前 無機化学2－1 秋津貴城 11-1 後 無機化学2－2 秋津貴城 11-1		前 有機化学実験 倉持悠輔・齊藤隆夫 後 物理化学実験 佐々木健夫・笠間健嗣 (17:50～22:40)→					
3K5j					前 物理化学実験 佐々木健夫・笠間健嗣 後 有機化学実験 倉持悠輔・齊藤隆夫 (17:50～22:40)→					
3K6k										
3K6l										
2-4K	後 化学熱力学概論 高橋 芳行 11-1	前 有機化学0 佐竹 彰治 623, 1号館 後 有機化学4 佐竹 彰治 3階		前 有機化学3 杓村 憲樹 1011 前 分析化学2 野村 貴美 842 後 放射化学 山田・中 832 前 物理数学3 長嶋・加瀬 351			前 物理学実験 佐東信司・高橋忍 (12:50～16:35) →			
						後 物理学実験 佐東信司・高橋忍 (12:50～16:35) →				
3-4K	前 生物物理学1 梅村 和夫 224 後 生物物理学2 梅村 和夫 224			前 微分幾何入門A (応用数学2A) 佐古 彰史 834 後 微分幾何入門B (応用数学2B) 佐古 彰史 834 前 分子構造論1 星野 翔麻 11-1 後 物理数学4 加瀬竜太郎 351		前 生化学1 貴名 学 11-6 後 生化学2 貴名 学 11-6			後 C卒業研究※ 各教員 11-6 ※前期については各教員毎の教室を使用	前 理科教育論1 荘司隆一 後 理科教育論2 荘司隆一 6-4F理科実験室・241

2020年度 理学部第二部 英語・教職 授業時間割

＜ 集中講義 ＞		
集 教育実習1	八並 光俊 他	集 教育実習指導演習 並木 正 他
集 教育実習2	八並 光俊 他	
集 教育実習指導(直前・事後)	八並 光俊 他	

金		土			
4時限 (14:30～16:00)		1時限(8:50～10:20)		2時限(10:30～12:00)	
前	教育史 井藤 元 851	後	Listening & Speaking 1 [Remedial] (A英語1) 伊藤 達也 842	後	Reading & Writing 1 [Remedial] (A英語2) 伊藤 達也 842
		後	教育と社会 山口 泰史 331	前	数学科指導法1(S1) 臼田三知永 335 後 数学科指導法2(S1) 松本 明 335
				前	数学科指導法1(S2c,B3) 田中 均 332 後 数学科指導法2(S2c,B3) 田中 均 332
				前	数学科指導法1(S2d,B4) 石倉 敏雄 242 後 数学科指導法2(S2d,B4) 石倉 敏雄 242
				前	生徒指導演習 竹村 精治 341 榎本 成己 343 後 教職概論 SBK他 高橋 伯也 342
				前	教職概論 高橋伯也 342 後 授業構成法演習 榎本 成己 852
				前	特別活動・進路指導 中村 豊 323 後 生徒指導論 中村 豊 241
		前・前	地学実験1※ 関・永野他 621	→	
		前・後	地学実験2※ 関・永野他 621	→	

	月			火			水		
	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)	7時限 (19:40～21:10)	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)	7時限 (19:40～21:10)	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)	7時限 (19:40～21:10)
英語	前 Listening & Speaking 1 [Basic] (A英語1) 長谷川新一 332 後 Listening & Speaking 2 [Basic] (A英語1)	通 視聴覚英語 増田 秀夫 11-2 (放送英語) 通 時事英語 BHAILA BIRENDRA 343	通 視聴覚英語 伊藤 達也 242 (放送英語)	前 Listening & Speaking 1 [Basic] (A英語1) 長谷川新一 332 後 Listening & Speaking 2 [Basic] (A英語1) 前 Reading & Writing 1 [Academic] (A英語2) 片山七三雄 853 後 Reading & Writing 2 [Academic] (A英語2)	前 Reading & Writing 1 [Basic] (A英語2) 菅野 悟 343 後 Reading & Writing 2 [Basic] (A英語2) 通 視聴覚英語 宮添輝美 831 (放送英語)		前 Listening & Speaking 1 [Basic] (A英語1) 中須賀稚子 833 後 Listening & Speaking 2 [Basic] (A英語1) 通 B英語2[Academic] 片山七三雄 331 通 時事英語 丸田 忠雄 11-2	通 英語スピーキング Simpson 343 (口語英語1)	
教職	後 教職概論 (S科) 八並光俊 353 前 道徳教育 井藤 元 852 後 教育原理 井藤 元 852	前 地学2 永野 勝裕 332 前 道徳教育 田中 智輝 351 後 生徒指導論(S科) 八並 光俊 852		前 理科指導法1 並木 正 6-4F理科実験室 後 理科指導法2 並木 正 6-4F理科実験室 前 教職概論(B科、K科) 中村 豊 621 前 教職概論 (S科) 八並 光俊 321 後前 総合的な学習の時間の指導法(S科) 中村 豊 321 後後 総合的な学習の時間の指導法(B科、K科) 中村 豊 321 後前 特別支援教育論(B科、K科) 中村信雄 341 後後 特別支援教育論(S科) 中村信雄 341	前 数学科教育論1 佐古 彰史 852 後 数学科教育論2 佐古 彰史 852 前 特別活動・進路指導 中村 豊 843 後 特別活動・進路指導 中村 豊 843		前 発達と教育の心理学 渡辺 忠温 221 前 道徳教育 井藤 元 842 前 理科教育論1 川村 康文・井上 正之 6-4F理科実験室 後 理科教育論2 川村 康文・井上 正之 6-4F理科実験室	前 発達と教育の心理学 渡辺 忠温 344 後 教育心理学特論 渡辺 忠温 344	前 理科指導法1 松原 秀成 6-4F理科実験室 後 理科指導法2 松原 秀成 6-4F理科実験室
		前 生物学実験 武村・太田(尚)・内山 (17:50～21:35) 生物学実験室(10G1F) → 後 生物学実験 武村・太田(尚)・内山 (17:50～21:35) 生物学実験室(10G1F) →							

	木			金			土			
	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)	7時限 (19:40～21:10)	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)	7時限 (19:40～21:10)	3時限 (12:50～14:20)	4時限 (14:30～16:00)	5時限 (16:10～17:40)	6時限 (18:00～19:30)
英語	前 Reading & Writing 1 [Basic] (A英語2) 菅野 悟 843 後 Reading & Writing 2 [Basic] (A英語2)	前 Reading & Writing 1 [Basic] (A英語2) 宮添輝美 845 後 Reading & Writing 2 [Basic] (A英語2) 通 英語スピーキング MOGI Yuta 833 (口語英語1)	通 英語プレゼンテーション MOGI Yuta 833			前 Listening & Speaking 1 [Basic] (A英語1) 染谷昌弘 831 後 Listening & Speaking 2 [Basic] (A英語1)				
教職	前 教職概論 高橋伯也 234 前前 教育課程編成論 古川 知己 242 後 教職実践演習(中・高) 中村 豊 他 621 前 理科指導法1 榎本 成己 6-4F理科実験室 後 理科指導法2 榎本 成己 6-4F理科実験室	前 教育と社会 歌川 光一 323 後 教育原理 歌川 光一 323	前 教育と社会 歌川 光一 323 後 教育原理 歌川 光一 323	前 地学1 関 陽児 841 前 地学2 永野 勝裕 333 後 地学1 関 陽児 321 前 情報科教育法1 清水 克彦 243 後 情報科教育法2 清水 克彦 243 前後 特別活動 中村 豊 233 後 生徒指導論 中村 豊 233 前前 教育方法・技術 渡辺 雄貴 852 後後 教育工学 渡辺 雄貴 852	後 地学2 永野 勝裕 335 後 教育原理 井藤 元 851 後後 特別活動 中村 豊 331 後前 教育方法・技術 渡辺 雄貴 852		前 情報科教育法1 渡辺 雄貴 852 後 情報科教育法2 横 誠司 852 前 カウンセリング概論 岡田 弘 234 後 授業構成法演習 古川知己 341 榎本成己 後前 総合的な学習の時間の指導法 並木 正 221 後後 総合的な学習の時間の指導法 並木 正 221 後前 特別支援教育論 中村信雄 231 後後 特別支援教育論 中村信雄 231 前 教育法規 中村 豊 843 後 生徒指導論 中村 豊 242	前 発達と教育の心理学 中山 千秋 344 前 カウンセリング概論 岡田 弘 234 後 カウンセリング概論 岡田 弘 234 後 基礎生物学A 靱 達也 222 基礎生物学B 靱 達也 222	通 教育実習指導(事前) 八並 光俊 他 323 前 理科教育論1 荘司隆一 後 理科教育論2 荘司隆一 6-4F理科実験室・241 前 数学科教育論1 須田学 321 後 数学科教育論2 須田学 321	※地学実験1・2については前期土曜日(9時45分～12時00分もしくは12時50分～15時05分)及び夏休み期間に野田キャンパスセミナーハウスにおいて宿泊形式での集中実験を実施する。 申し込み方法及び詳細な日程については別途掲示をするので注意すること。
		前 生物学実験 靱・武村・内山 (17:50～21:35) 生物学実験室(10G1F) → 後 生物学実験 靱・武村・内山 (17:50～21:35) 生物学実験室(10G1F) →					前・前 地学実験1※ 関・永野 621 → 前・後 地学実験2※ 関・永野 621 →			

背景が■灰色の科目は「全学共通科目」に指定されている科目です。2020年度以降の入学生は■灰色の科目を自学部開講科目として卒業所要単位に算入できます。
2019年度以前の入学生は、自学部以外で開講している科目は、■灰色の科目を含め、他学部開講科目となりますので注意してください。

月曜日	1時限（8:50～10:20）	2時限（10:30～12:00）	3時限（12:50～14:20）	4時限（14:30～16:00）	5時限（16:10～17:40）	6時限（18:00～19:30）	7時限（19:40～21:10）
理学部第一部	前 生物学1 武村 222 後 生物学2 武村 222 前 社会学1 薄井 211 後 社会学2 薄井 211	前 健康スポーツC(実技) 加藤 後 健康スポーツD(実技) 加藤	前 健康スポーツA(実技) 村上 後 健康スポーツB(実技) 村上 前 数理経済学1 新堂 321 後 数理経済学2 新堂 321 前 西洋近代史1 山中 331 後 西洋近代史2 山中 331 前 心理学1 森田 362 後 心理学2 森田 362 前 心身相関1 松浦 323 後 心身相関2 松浦 323 前 現代社会事情1 松本 234 後 現代社会事情2 松本 234 前 日本国憲法 神野 624 後 日本国憲法 神野 624 前 メディア論ゼミ 宮武 852 後 グローバルコミュニケーション論2 宮武 852	前 健康スポーツA(実技) 村上 後 健康スポーツB(実技) 村上 前 社会学1 茂木 223 後 社会学2 茂木 223 前 倫理学1 上村 231 後 倫理学2 上村 231 前 西洋近代史1 山中 331 後 西洋近代史2 山中 331 前 日本国憲法 神野 624 後 日本国憲法 神野 624 前 生命科学入門 三浦 323 後 生命科学詳論 三浦 323 前 国際関係論1 松本 234 後 国際関係論2 松本 234 前 芸術1 越懸澤 212 前 Bドイツ語5a 今村 332 後 Bドイツ語5b 今村 332 通 (Bドイツ語5) 今村 332	前 健康スポーツA(実技) 村上 後 健康スポーツB(実技) 村上 後 外国文化論2 宮武 211 前 倫理学1 上村 231 後 倫理学2 上村 231 前 生命科学入門 武村 224 余越 内山 前 読書論1 並木(幸) 232 後 芸術2 並木(幸) 232 前 科学史1 慎 233 後 科学史2 慎 233 前 再A英語2a 清水 資料館4F 後 再A英語2b 清水 資料館4F 通 (再A英語2) 清水 資料館4F 前 再B英語2a 片山 851 後 再B英語2b 片山 851 通 (再B英語2) 片山 851		
					前 心理学1 森田 211 後 心理学2 森田 624 前 ストレスマネジメント1 松浦 331 後 ストレスマネジメント2 松浦 331 前 生命科学入門 武村他 224 前 芸術1(音楽1) 越懸澤 212 前 Aフランス語2a 岡本 132 後 Aフランス語2b 岡本 132 前 健康スポーツA(実技)(体育実技1) 村上 後 健康スポーツB(実技)(体育実技2) 村上 前 科学史1 慎 233 後 科学史2 慎 233	前 論理学1 小山田 622 後 論理学2 小山田 622 前 人間関係1 金 342 後 人間関係2 金 342 前 哲学1 市川 232 後 哲学2 市川 232 前 検定英語1(技能英語1) 伊藤 242 後 検定英語2(技能英語2) 伊藤 242 後 歴史学1(歴史1) 米山 842 前 コミュニケーションスキル1 松浦 331 後 コミュニケーションスキル2 松浦 331	前 日本語表現法1 牧野 333 後 日本語表現法2 牧野 333 前 キャリア発達セミナー 森田 224 後 キャリア発達セミナー 森田 224 前 哲学1 市川 232 後 哲学2 市川 232 前 宗教学1 山本 323 後 宗教学2 山本 323 前 論理学1 小山田 622 後 論理学2 小山田 622 後 歴史学2(歴史2) 米山 842
		前 健康スポーツC(実技) 加藤 後 健康スポーツD(実技) 加藤	前 健康スポーツA(実技) 村上 後 健康スポーツB(実技) 村上	前 国際関係論1 松本 234 後 国際関係論2 松本 234 前 生命科学入門 三浦 323 (学年指定・1年) 後 生命科学技術論 慎 233 前 健康スポーツA(実技) 村上 後 健康スポーツB(実技) 村上 後 哲学2 村上 212 後 日本国憲法 神野 624	前 科学史1 慎 233 後 科学史2 慎 233 前 現代技術論 小林 831 前 エネルギーと環境 栗原 222 前 健康スポーツA(実技) 村上 後 健康スポーツB(実技) 村上 前 生命科学入門 武村 224 (学年指定・1年) 余越 内山 後 科学論 石垣 224		
		後 現代化学概論 渡辺(正) 323 後 倫理学2 巻田 362		後 日本国憲法 森田(悦) 832			
工学部工業化学科							
経営学部							

背景が■灰色の科目は「全学共通科目」に指定されている科目です。2020年度以降の入学生は■灰色の科目を自学部開講科目として卒業所要単位に算入できます。
2019年度以前の入学生は、自学部以外で開講している科目は、■灰色の科目を含め、他学部開講科目となりますので注意してください。

火曜日	1時限（8:50～10:20）	2時限（10:30～12:00）	3時限（12:50～14:20）	4時限（14:30～16:00）	5時限（16:10～17:40）	6時限（18:00～19:30）	7時限（19:40～21:10）
理学部第一部	前 宗教学1 山本(伸) 136	前 健康スポーツC(実技) 村上	前 健康スポーツA(実技) 村上	前 健康スポーツC(実技) 北林	前 健康スポーツA(実技) 北林		
	後 宗教学2 山本(伸) 136	後 健康スポーツD(実技) 村上	後 健康スポーツB(実技) 村上	後 健康スポーツD(実技) 北林	後 健康スポーツB(実技) 北林		
	前 西洋現代史1 山中 333	前 西洋現代史1 山中 333	前 英会話3a ブライス 844	前 日本国憲法 神野 624	前 法学1 神野 624		
	後 西洋現代史2 山中 333	後 西洋現代史2 山中 333	後 英会話3b ブライス 844	後 法学ゼミ 神野 243	後 法学2 神野 624		
	前 環境1 複数 232	前 人文地理学1 原 343	通 (英会話3) ブライス 844	前 知財経済論 鈴木 233	前 文化人類学1 長沢 222		
	後 環境2 複数 232	後 人文地理学2 原 343	前 知的財産基礎 鈴木 233		後 文化人類学2 長沢 222		
		前 英会話4a プレイディー 332			前 健康・スポーツ科学 村上 11-7		
		後 人間関係 高木 222			後 情報と職業 菊池 362		
					前 歴史学1 山中 241		
					後 歴史学2 山中 241		
					前 再A英語1a ブライス 844		
					後 再A英語1b ブライス 844		
					通 (再A英語1) ブライス 844		
					前 再B英語1a 丸田 11-2		
理学部第二部					後 再B英語1b 丸田 11-2	前 文学1(国文学1) 小林 241 後 文学2(国文学2) 小林 241 前 心理学研究法1 荻原 841 後 心理学研究法2 荻原 841 後 異文化コミュニケーション論 片山 851	前 情報社会及情報倫理 菊池 331 後 情報と職業 菊池 331 前 日本語表現法1 小林 241 後 日本語表現法2 小林 241
					通 (再B英語1) 丸田 11-2		
					前 Bロシア語1a 加藤(敏) 132		
					後 Bロシア語1b 加藤(敏) 132		
					通 (Bロシア語1) 加藤(敏) 132		
					前 Bドイツ語1a 岡本 843		
					前 B中国語2a 大山 342		
					後 B中国語2b 大山 342		
					通 (B中国語2) 大山 342		
					前 理科系のキャリアアップのためのライティング技法 小山 334		
					前 情報社会及情報倫理 菊池 362		
					後 情報と職業 菊池 362		
					前 歴史学1(歴史1) 山中 241		
					後 歴史学2(歴史2) 山中 241		
					前 文化論セミナー 荻原 234		
工業学部 工学 化学 工学科	前 経済学1 甲斐 231	前 健康スポーツC(実技) 村上	前 倫理学1 矢島 353	前 健康スポーツC(実技) 北林	前 健康スポーツA(実技) 北林		
	後 経済学2 甲斐 231	後 健康スポーツD(実技) 村上	前 日本語表現法1 齊藤(静) 223	後 健康スポーツD(実技) 北林	後 健康スポーツB(実技) 北林		
		前 人文地理学1 原 343	後 日本語表現法2 齊藤(静) 223		前 健康・スポーツ科学 村上 11-7		
		後 人文地理学2 原 343	前 健康スポーツA(実技) 村上				
			後 健康スポーツB(実技) 村上				
			後 宗教学1 矢島 353				
経営学部							

背景が■灰色の科目は「全学共通科目」に指定されている科目です。2020年度以降の入学生は■灰色の科目を自学部開講科目として卒業所要単位に算入できます。
2019年度以前の入学生は、自学部以外で開講している科目は、■灰色の科目を含め、他学部開講科目となりますので注意してください。

水曜日	1時限（8:50～10:20）	2時限（10:30～12:00）	3時限（12:50～14:20）	4時限（14:30～16:00）	5時限（16:10～17:40）	6時限（18:00～19:30）	7時限（19:40～21:10）
理学部第一部		前 TOEFL Skills: L&R 1 張替 335 後 TOEFL Skills: L&R 2 張替 335 通 (D英語1) 張替 335 前 心理学1 渡辺(忠) 212 後 心理学2 竹尾 212	前 健康スポーツA(実技) 北林 後 健康スポーツB(実技) 北林 前 文学1 張替 353 後 TOEFL Skills: S&W 2 張替 335 前 技術経営概論 平塚 224	前 健康スポーツA(実技) 北林 後 健康スポーツB(実技) 北林 前 心理学1 渡辺(忠) 624 後 芸術2 山田 321 前 日本語表現法1 岩内 136 後 日本語表現法2 岩内 136	前 健康スポーツA(実技) 北林 後 健康スポーツB(実技) 北林 前 知的財産基礎 鈴木 224 後 科学技術と社会 鈴木 224 前 哲学1 上村 832 後 哲学2 上村 832 前 英会話1a マイケルズ 132 後 心理学2 渡辺(忠) 624 前 再B英語1a 並木 232 後 再B英語1b 並木 232 通 (再B英語1) 並木 232		
					前 知的財産基礎 鈴木 224 前 産業心理学 荻原 351 後 社会心理学 荻原 351 前 倫理学1 中川 841 後 倫理学2 中川 841 前 健康スポーツA(実技)(体育実技1) 北林 後 健康スポーツB(実技)(体育実技2) 北林 前 哲学1 上村 832 後 哲学2 上村 832 前 情報機器入門 大井 1G-3Fターミナル 後 検定英語2(技能英語2) Hillary Michaels 834 後 科学技術と社会 鈴木 224	前 Aドイツ語1a 橋本 342 後 天文学概論 大井 224 前 Aフランス語1a 岡本 135 後 Aフランス語1b 岡本 135 前 論理学1 上村 844 後 論理学2 上村 844	前 Aドイツ語2a 橋本 343
			前 健康スポーツA(実技) 北林 後 健康スポーツB(実技) 北林	前 健康スポーツA(実技) 北林 後 健康スポーツB(実技) 北林	前 健康スポーツA(実技) 北林 後 健康スポーツB(実技) 北林 前 知的財産基礎 鈴木 224 後 科学技術と社会 鈴木 224 (学年指定・3～4年)		
工学部工業化学科							
経営学部	前 ドイツ語1 巻田 834 後 ドイツ語2 巻田 834 前 日本語表現法1 齊藤(静) 624 前 比較文化論1(1組) 榎本 211 前 カウンセリング概論 渡辺(忠) 621	前 論理学1 巻田 834 後 論理学2 巻田 834 前 文学1 齊藤(静) 624 前 比較文化論1(2組) 榎本 211 後 比較文化論2 榎本 212 後 科学史1 俵 853 後 英米文化論 川崎(明) 242					

背景が■灰色の科目は「全学共通科目」に指定されている科目です。2020年度以降の入学生は、■灰色の科目を自学部開講科目として卒業所要単位に算入できます。2019年度以前の入学生は、自学部以外で開講している科目は、■灰色の科目を含め、他学部開講科目となりますので注意してください。

木曜日	1時限（8:50～10:20）	2時限（10:30～12:00）	3時限（12:50～14:20）	4時限（14:30～16:00）	5時限（16:10～17:40）	6時限（18:00～19:30）	7時限（19:40～21:10）	
理学部第一部	前 健康スポーツA(実技) 藤田 後 健康スポーツB(実技) 藤田	前 健康スポーツC(実技) 藤田 後 健康スポーツD(実技) 藤田 前 情報化社会及びメディア 河井 231 徳山 水野 前 再B英語2a 丸田 11-2 後 再B英語2b 丸田 11-2 通 (再B英語2) 丸田 11-2 前 統計学1 金藤 362 後 統計学2 金藤 362	前 健康スポーツA(実技) 藤原 後 健康スポーツB(実技) 藤原 前 健康・スポーツ科学 竹崎 212 後 健康・スポーツ科学 竹崎 212 前 生命科学入門 三浦 624 後 生命科学詳論 三浦 624 前 文化人類学1 木名瀬 211 後 文化人類学2 木名瀬 211	前 健康スポーツA(実技) 藤原 後 健康スポーツB(実技) 藤原 前 健康スポーツC(実技) 荒川 後 健康・スポーツ科学 竹崎 212 前 情報社会及び情報倫理 山本(芳) 321 川口 西谷 畠山	前 健康スポーツA(実技) 藤原 後 健康スポーツB(実技) 藤原 前 Bドイツ語4a 岡本 222 後 Bドイツ語4b 岡本 222 通 (Bドイツ語4) 岡本 222			
					前 文学1(国文学1) 小林 321 後 文学2(国文学2) 小林 321 前 法学1(法学) 大野 333 後 日本国憲法 大野 221 前 心理学1 荻原 323 後 心理学2 荻原 323 後 芸術2(音楽2) 越懸澤 234 前 健康スポーツA(実技)(体育実技1) 藤原 後 健康スポーツB(実技)(体育実技2) 藤原	前 Aドイツ語2a 渡辺 134 後 Aドイツ語2b 渡辺 134 前 法学1(法学) 大野 333 後 日本国憲法 大野 333 前 日本語・英語読解・作文のための クリティカルシンキング1 齋藤 834 後 日本語・英語読解・作文のための クリティカルシンキング2 片山 321 前 日本語表現法3 小林 221 後 日本語表現法4 小林 221 前 心理学演習1 森田 後 心理学演習2 森田	前 Aドイツ語1a 渡辺 335 後 Aドイツ語1b 渡辺 335 前 日本語表現法1 小林 241 後 日本語表現法2 小林 241 135 → 135 →	
	工学部工業化学科	前 言語と文化 小川 333 前 中国語初級A 孫 851 後 中国語初級B 孫 851 通 A中国語 孫 851 前 健康スポーツA(実技) 藤田 後 健康スポーツB(実技) 藤田 後 芸術1 玉川 333	前 比較文化論1 木名瀬 211 後 比較文化論2 木名瀬 211 前 フランス語初級A マランベルジュ 835 後 フランス語初級B マランベルジュ 835 通 Aフランス語 マランベルジュ 835 前 中国語初級A 孫 851 後 中国語初級B 孫 851 通 A中国語 孫 851 前 English Seminar a グレイアムマー 843 後 English Seminar b グレイアムマー 843 前 健康スポーツC(実技) 藤田 後 健康スポーツD(実技) 藤田	前 文学1 重信 222 後 文学2 重信 222 前 文化人類学1 木名瀬 211 後 文化人類学2 木名瀬 211 前 生命科学入門 三浦 624 (学年指定・1年) 前 ドイツ語初級A 津崎 833 後 ドイツ語初級B 津崎 833 通 Aドイツ語 津崎 833 前 健康・スポーツ科学 竹崎 212 後 健康・スポーツ科学 竹崎 212 前 健康スポーツA(実技) 藤原 後 健康スポーツB(実技) 藤原	前 論理学1 森永 832 後 論理学2 森永 832 前 社会学1 渡部 831 後 社会学2 渡部 831 前 情報社会及び情報倫理 山本(芳) 321 川口 西谷 畠山 前 ドイツ語初級A 津崎 833 後 ドイツ語初級B 津崎 833 通 Aドイツ語 津崎 833 前 健康スポーツA(実技) 藤原 後 健康スポーツB(実技) 藤原 前 健康スポーツC(実技) 荒川 後 健康・スポーツ科学 竹崎 212	前 健康スポーツA(実技) 藤原 後 健康スポーツB(実技) 藤原		
		経営学部			前 現代物理学概論 齊藤(進) 221 前 地域連携論1 榎本 362 後 地域連携論2 榎本 362	前 現代技術論 栗原 241 前 芸術1 小石 241 前 現代生物学概論 深井 853	前 社会学1 長野 624 後 社会学2 長野 624 前 心理学1 森田(泰) 623 後 心理学2 森田(泰) 623	

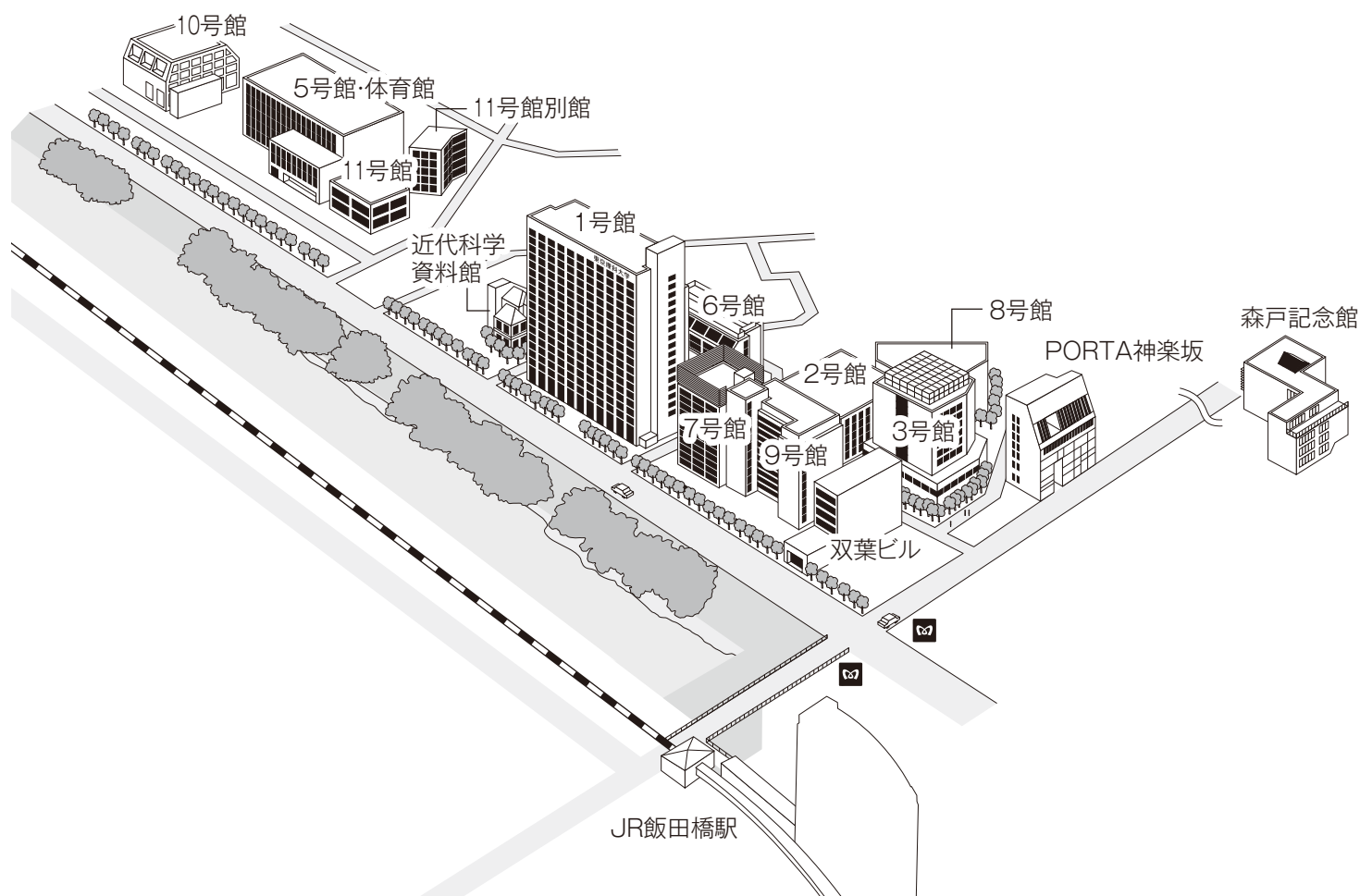
背景が■ 灰色の科目は「全学共通科目」に指定されている科目です。2020年度以降の入学生は■ 灰色の科目を自学部開講科目として卒業所要単位に算入できます。2019年度以前の入学生は、自学部以外で開講している科目は、■ 灰色の科目を含め、他学部開講科目となりますので注意してください。

金曜日	1時限（8:50～10:20）	2時限（10:30～12:00）	3時限（12:50～14:20）	4時限（14:30～16:00）	5時限（16:10～17:40）	6時限（18:00～19:30）	7時限（19:40～21:10）			
理学部第一部	前 生物学1 太田(尚) 211 後 生物学2 太田(尚) 211 前 生命科学入門 武村 221 後 生命科学詳論 武村 221 前 法学1 神野 624 後 法学2 神野 624 前 教育心理学ゼミ 竹尾 852	前 健康スポーツB(実技) 小林 後 健康スポーツA(実技) 小林 前 経済学1 柴田 212 後 経済学2 柴田 212 前 政治学1 松本 341 後 政治学2 松本 341	前 健康スポーツA(実技) 小林 後 健康スポーツB(実技) 小林 前 生物学1 太田(尚) 331 後 生物学2 太田(尚) 331 前 生物学1 梶 353 後 生物学2 梶 353 前 政治学1 松本 341 後 政治学2 松本 341 前 知的財産概論1 宮武 852 後 臨床心理学ゼミ 竹尾 852 前 英会話2a オリファント 132 後 英会話2b オリファント 132 通 (英会話2) オリファント 132 前 B中国語1a 大山 334	前 健康スポーツA(実技) 小林 後 健康スポーツB(実技) 小林 前 生物学1 梶 1011 後 生物学2 梶 1011 前 倫理学1 巻田 234 後 倫理学2 巻田 234 前 科学論1 江里口 832 後 科学論2 江里口 832 前 グローバルコミュニケーション論1 宮武 243 後 知的財産概論2 宮武 243 前 現代社会ゼミ 松本 136 後 読書論2 松本 136 前 TOEIC Skills: L&S 1 北田 844 後 TOEIC Skills: L&S 2 北田 844 通 (C英語1) 北田 844 前 Bドイツ語2a 浅井 834 後 Bドイツ語2b 浅井 834 通 (Bドイツ語2) 浅井 834	前 健康スポーツA(実技) 相良 後 健康スポーツB(実技) 相良 前 論理学1 巻田 234 後 論理学2 巻田 234 前 歴史学1 高江洲 242 後 歴史学2 高江洲 242 後 健康・スポーツ科学 北林 11-1 前 TOEIC Skills: R&W 1 北田 844 後 TOEIC Skills: R&W 2 北田 844 通 (C英語2) 北田 844	前 健康スポーツC(実技) 相良 後 健康スポーツD(実技) 相良	前 健康スポーツA(実技) 相良 後 健康スポーツB(実技) 相良			
	理学部第二部					後 健康・スポーツ科学 北林 11-1 前 検定英語1(技能英語1) 宮添 843 後 検定英語2(技能英語2) 宮添 843 前 歴史学1(歴史1) 高江洲 242 後 歴史学2(歴史2) 高江洲 242 前 健康スポーツA(実技) (体育実技1) 相良 後 健康スポーツB(実技) (体育実技2) 相良	前 健康スポーツC(実技) (体育実技3) 相良 後 健康スポーツD(実技) (体育実技4) 相良 前 経済学1 戸塚 842 後 経済学2 戸塚 842 通 プログラミングゼミ 菊池 資料館4F	前 健康スポーツA(実技) (体育実技1) 相良 後 健康スポーツB(実技) (体育実技2) 相良 前 経済学1 戸塚 842 後 経済学2 戸塚 842		
		工業化学部	前 社会科学入門1 光辻 353 後 社会科学入門2 光辻 353 前 健康スポーツB(実技) 小林 後 健康スポーツA(実技) 小林	前 健康スポーツA(実技) 小林 後 健康スポーツB(実技) 小林	前 健康スポーツA(実技) 小林 後 健康スポーツB(実技) 小林	前 健康スポーツA(実技) 相良 後 健康スポーツB(実技) 相良 後 健康・スポーツ科学 北林 11-1	前 健康スポーツC(実技) 相良 後 健康スポーツD(実技) 相良	前 健康スポーツA(実技) 相良 後 健康スポーツB(実技) 相良		
			経営学部	前 企業連携論 榎本 362 後 組織文化論 榎本 362 前 哲学1 巻田 223 後 現代思想 巻田 223 前 中国語1 阿部(博) 234 後 中国語2 阿部(博) 234	前 情報社会および情報倫理 巻田 211 後 倫理学1 巻田 621					

背景が■灰色の科目は「全学共通科目」に指定されている科目です。2020年度以降の入学生は■灰色の科目を自学部開講科目として卒業所要単位に算入できます。
2019年度以前の入学生は、自学部以外で開講している科目は、■灰色の科目を含め、他学部開講科目となりますので注意してください。

土曜・集中	1時限（8:50～10:20）	2時限（10:30～12:00）	3時限（12:50～14:20）	4時限（14:30～16:00）	5時限（16:10～17:40）	6時限（18:00～19:30）	集中講義
理学部第一部			前 健康スポーツA(実技) 中島 後 健康スポーツB(実技) 中島 前 日本事情1 青木 833 後 日本事情2 青木 833	前 健康スポーツC(実技) 中島 後 健康スポーツD(実技) 中島 前 日本語文法(基礎) 青木 833 後 日本語文法(初級) 青木 833 通 (A日本語2) 青木 833	前 日本語文法(中級a) 青木 833 後 日本語文法(中級b) 青木 833 通 (B日本語2) 青木 833		集 日曜集中体育実習 集 シーズンスポーツ実習1 集 シーズンスポーツ実習2 集 地域言語文化 北田 集 生命科学実験1 榎 太田 集 生命科学実験2 太田 榎
			前 Aドイツ語1a 渡辺 831 前 政治学1 藤由 333 後 政治学2 藤由 333 前 健康スポーツA(実技) (体育実技1) 中島 後 健康スポーツB(実技) (体育実技2) 中島	前 A中国語a 徐 333 後 A中国語b 徐 333 前 A朝鮮語a 権 835 後 A朝鮮語b 権 835 前 Aドイツ語2a 渡辺 831 前 健康スポーツC(実技) (体育実技3) 中島 後 健康スポーツD(実技) (体育実技4) 中島	前 法学1(法学) 森脇 853 後 日本国憲法 森脇 853	前 法学1(法学) 森脇 853 後 日本国憲法 森脇 853	集 日曜集中体育実習
			前 日本事情1 青木 833 後 日本事情2 青木 833 前 健康スポーツA(実技) 中島 後 健康スポーツB(実技) 中島	前 日本語文法(基礎) 青木 833 後 日本語文法(初級) 青木 833 通 A日本語2 青木 833 前 朝鮮語初級A 権 835 後 朝鮮語初級B 権 835 通 A朝鮮語 権 835 前 健康スポーツC(実技) 中島 後 健康スポーツD(実技) 中島	前 日本語文法(中級a) 青木 833 後 日本語文法(中級b) 青木 833 通 B日本語2 青木 833		集 日曜集中体育実習 集 シーズンスポーツ実習1 集 シーズンスポーツ実習2 集 哲学1 村上
工学部工業化学科							
経営学部							

神楽坂校舎案内図



号館名	階	教室、事務室名	号館名	階	教室、事務室名
1 号館	1 階	教養・数学科・物理学科事務室 132 教室～136 教室 教職課程支援室	6 号館	2 階	621 教室～624 教室
	3 階		7 号館	3 階	731 ゼミ室～736 ゼミ室
4 階	4 階			741 ゼミ室～742 ゼミ室	
	7 階	数学科新刊雑誌室 ※1			
2 号館	1 階	211 教室～212 教室	8 号館 ※2	3 階	831 教室～835 教室
	2 階	221 教室～224 教室		4 階	841 教室～845 教室
3 号館	3 階	231 教室～234 教室	9 号館	5 階	851 教室～853 教室
	4 階	241 教室～242 教室		3 階	理学部二部事務室
	2 階	321 教室～323 教室	10 号館	4 階	教員室
	3 階	331 教室～335 教室		1 階	1011 教室
	4 階	341 教室～344 教室			
5 号館	5 階	351 教室～352 教室	11 号館	B2 階	11－1 教室
	B1 階	化学科事務室 511 ゼミ室～514 ゼミ室 体育館		B1 階	11－2、11－3 教室
				1 階	11－4 教室
				2 階	11－5、11－6 教室
				3 階	11－7 教室

※1 数学科の卒業研究に係ることは数学科新刊雑誌室で扱います。

※2 8号館へは2号館から通り抜けができます。

